

JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

ANNUAL REPORT 2017



特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会

2017 年度アニュアルレポート
Contents

目次・ごあいさつ	01
組織概要とメンバー	02
会員数と登録クラブ	04
活動の海岸	06
パトロールログ 2017 トピックス	08
JLA ACADEMY	09
ライフセービングスポーツ	12
溺水防止救助救命	16
国際交流事業	18
その他活動	20
パトロールログ集計	22
レスキューレポート	24
2017 年度公式競技会結果	26

ごあいさつ

2017 年度は、法人格転換の第一歩として一般財団法人日本ライフセービング協会を発足し、より公益性の高い活動を目指して、関係団体との横断的な連携・協力を力を入れました。

「教育」ではライフセービングコンテンツを具体的に広く一般国民へ伝える手段を検討するため、新たにライフセービング教育本部を設立し、学校教育と地域教育の専門委員会がスタートしました。さらに消費者庁安全調査委員会専門委員へ協会役員を派遣し、教育・保育施設でのプール活動や水遊びにおける事故防止の意識を高めることを目的とした「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びに関する実態調査」(平成 30 年 4 月 24 日付発表)の取りまとめに参加しました。「救命」ではウォーターセーフティシンポジウムを初開催し、学術分野、関係省庁、関係団体の皆様と、命を繋ぐという同じ志について検討を重ねました。「スポーツ」ではワールドゲームズへの出場を叶え、さらに男子障害物リレーにおいて、世界新記録を樹立しての金メダルを獲得しました。ジュニア世代からのクリニックや、地域におけるスポーツを通じてのライフセービング普及が、様々な形で結果につながりました。

これら活動、事業のすべては、JLA 会員の皆様、助成・協賛・協力いただいたすべての皆様のご支援のもとに成り立っております。ここに心より感謝を申し上げ、2017 年度アニュアルレポートを発行します。

2018 年 12 月

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会

多くの皆様のご支援のもと、水辺の事故ゼロを目指しています。
＜敬称略＞

【協賛】
株式会社三洋物産 株式会社三洋販売
第一三共株式会社
味の素株式会社
株式会社大塚製薬工場
株式会社オッシュマンズ・ジャパン
株式会社櫻井興業
サッポロホールディングス株式会社
千葉県レクリエーション都市開発株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
明和地所株式会社
レールダルメディカルジャパン株式会社

【助成】
日本財団
シャルレーヌ・モナコ公妃財団
独立行政法人日本スポーツ振興センター

【協力】
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
株式会社ゴールドウイン
株式会社ジャングルジャム
株式会社 TKS
株式会社ポピンズ
ミズノ株式会社
株式会社ライトアベイル

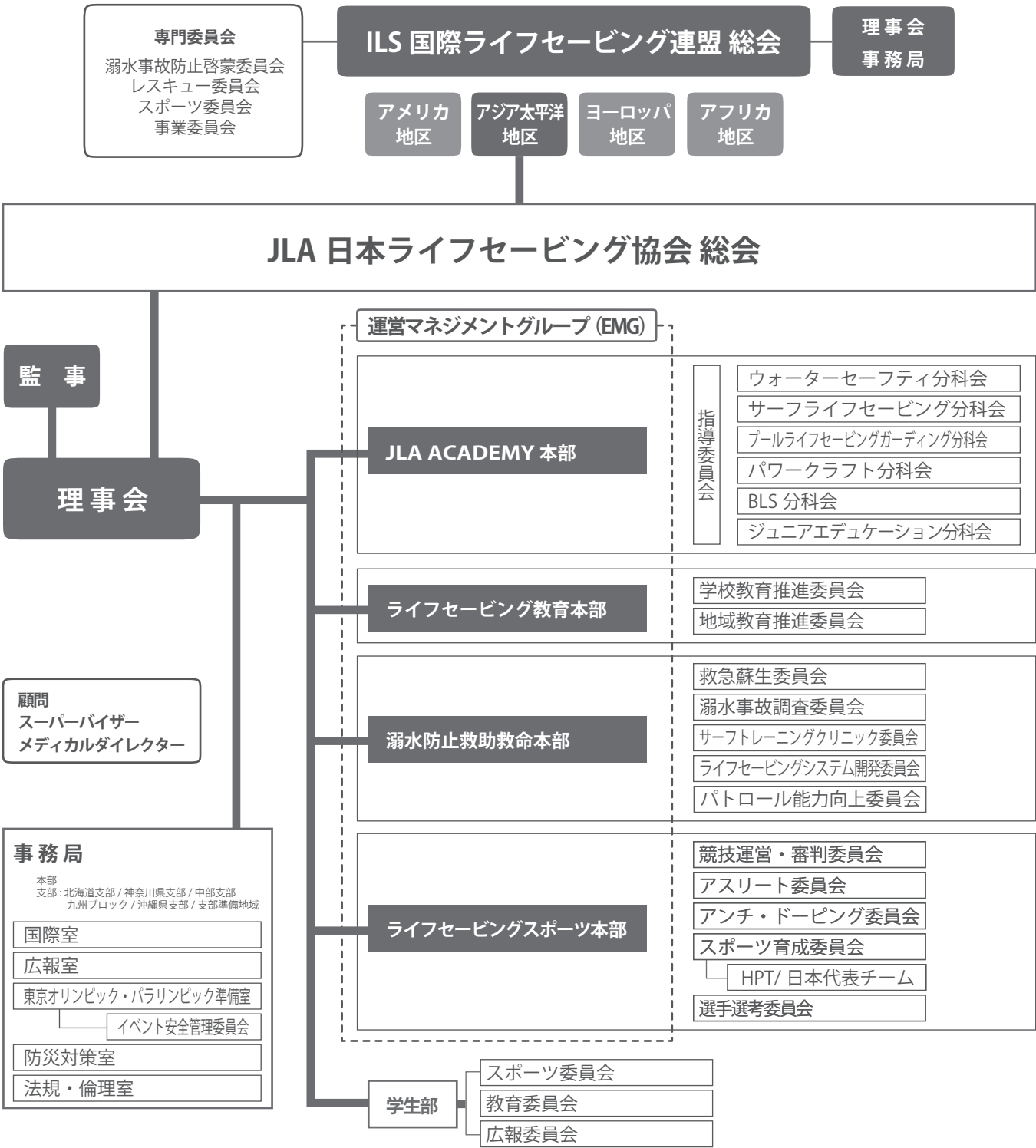
【団体賛助・寄付】
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
VIGO MEDICAL 株式会社
株式会社カクイホーム
キング通信工業株式会社
株式会社三洋物産 株式会社三洋販売
株式会社第一成和事務所
千葉県レクリエーション都市開発株式会社
一般財団法人千代田健康開発事業団
DHL ジャパン株式会社
公益社団法人 日本水難救済会
株式会社ビーウォッシュ
フィリップス・ジャパン株式会社
株式会社ポピンズ
有限会社吉田三郎商店
ラディックス株式会社
有限会社リプロ

【個人賛助・寄付】
小島 祐嘉
山田 穂積

組織概要とメンバー

Organization

日本ライフセービング協会（以下 JLA）は、国際ライフセービング連盟（以下 ILS）の正会員として、アジア太平洋地区に属している日本代表機関です。JLA ミッションに沿って、役員、専門委員会、事務局が事業計画を立て、JLA 会員の皆様、関係諸機関、各方面からの助成、協賛、協力をいただき、水辺の事故ゼロを目指して活動しています。



2018年3月現在

役員・事務局・専門委員会メンバー

■**理事会**
理事長
入谷 拓哉（EMG 統括 / 法規・倫理室）
副理事長
尾田 依津子（防災対策室）
松本 貴行（EMG/ ライフセービング教育本部）
理事
石川 仁憲（EMG/ 溺水防止救助救命本部）
内田 直人（防災対策室）
風間 隆宏（EMG/JLA ACADEMY 本部）
川地 政夫（事務局長 / 法規・倫理室）
高野 絵美（広報室 / 東京オリンピック・パラリンピック準備室）
中川 容子（国際室）
藤田 和人（地域代表選出）
丸田 重夫（学生部）
宮部 周作（EMG/ ライフセービングスポーツ本部）
*EMG= 運営マネジメントグループ

■**監事**
古橋 理・文珠寺 裕之

■**顧問**
酒匂 敏次（博士）
千葉 景子（弁護士）
脇坂 誠也（税理士）

■**スーパーバイザー**
足立 正俊・上野 真宏・小峯 力
豊田 勝義・中見 隆男・山本 利春
飯沼 誠司

■**メディカルダイレクター**
中川 儀英（医師）・田中 秀治（医師）

■**JLA ACADEMY 本部**
風間 隆宏（本部長）・佐藤 洋二郎（副本部長）

■**溺水防止救助救命本部**
石川 仁憲（本部長）・菊地 太（副本部長）

■**ライフセービング教育本部**
松本 貴行（本部長）

■**ライフセービングスポーツ推進本部**
宮部 周作（本部長）・佐藤 文机子（副本部長）

■**事務局**
川地 政夫（事務局長）
中山 昭（事務局次長）・佐藤 洋二郎
北海道支部
上野 哲矢（支部長）・大平 拓司（副支部長）
神奈川県支部
土志田 仁（支部長）・菊地 一郎（副支部長）
中部支部
井藤 秀晃（支部長）・鈴木 雄三（副支部長）
九州ブロック
尾田 智史（ブロック長）・藤田 和人（副ブロック長）
沖縄県支部
矢貫 卓博（支部長）

▼**国際室**
中川 容子（室長）
相澤 千春・西嶋 智美・宮部 周作
鈴木 慎一・斎藤 愛子

▼**広報室**
高野 絵美（室長）
大山 玲奈（ライフセービング教育本部）
風間 隆宏（JLA ACADEMY 本部）
菊地 太（溺水防止救助救命本部）
中川 容子（国際室）
西山 俊（ライフセービングスポーツ本部）

▼**東京オリンピック・パラリンピック準備室**
高野 絵美（室長）
内田 直人・石井 英一・斎藤 愛子
篠田 敦子・福島 圭介・原 怜来（オブザーバー）

▷**イベント安全管理委員会**
石井 英一（委員長）
河波 弘晃・菊地 由美子・篠田 敦子
古中 洋平・名須川 開渡・森 良祐
安田 春暁
・**日本水泳連盟安全担当員**
石井 英一・河波 弘晃・安田 春暁
・**日本トリアスロン連合**
石井 英一・篠田 敦子
・**日本マスターズ水泳協会**
石井 英一（安全委員）・田村 浩志

▼**防災対策室**
内田 直人（室長）
尾田 依津子

▼**法規・倫理室**
川地 政夫・入谷 拓哉

■**学生部**
丸田 重夫（部長）
2017 年度 学生役員
河西 基（代表／流通経済大学）
鈴木 佑弥（副代表／東海大学海洋学部）
小堀 友里亜（主務／日本女子体育大学）
根岸 春果（会計／明星大学）
熊木 渉（スポーツ委員長／国際武道大学）
石井 和馬（教育委員長／国際武道大学）
塚本 涼太郎（広報委員長／中央大学）

■**専門委員会**

JLA ACADEMY 本部

▼**指導委員会**
阿部 健（委員長）・水川 雅司（副委員長）
▷**ウォーターセーフティ分科会**
小林 利浩（ディレクター）
田村 浩志・村井 亜紗子
▷**サーフライフセービング分科会**
関口 義和（ディレクター）
篠田 智哉・多胡 誠
▷**プールライフガーディング分科会**
岡澤 悟一（ディレクター）
兼田 明日佳・中見 隆男
▷**パワークラフト分科会**
河波 弘晃（ディレクター）
岡澤 悟一
▷**BLS 分科会**
清水 博史（ディレクター）
来島 太郎・黒柳 真吾・野瀬 珠榮
▷**ジュニアエデュケーション分科会**
藤井 正弘（ディレクター）
今井 恵子・木島 悠太郎・森 洋行

ライフセービング教育本部

▼**学校教育推進委員会**

▼**地域教育推進委員会**

溺水防止救助救命本部

▼**救急蘇生委員会**
中川 儀英（委員長）
福島 圭介・菊地 太

▼**溺水事故調査委員会**
福島 圭介（委員長）
水澤 彩子

▼**サートレーニングクリニック委員会**
荒井 洋佑（委員長）
石川 仁憲・石原 進介・入谷 拓哉
内田 直人・大西 明・落合 慶二
菊地 太・佐藤 文机子・出木谷 啓太
中見 隆男・原田 香菜

▼**パトロール能力向上委員会**
菊地 太（委員長）
中川 健

▼**ライフセービングシステム開発委員会**
小林 俊樹（委員長）
朽木 豊・佐藤 成晃・田原 幸佑
松見 吉朗・毛利 智
サポート委員：齋藤 駿也・坂本 卓馬・横倉 厚

ライフセービングスポーツ本部

▼**競技運営・審判委員会**
中島 典子（委員長）
粟生 賢一・梶本 道彦・栗栖 清浩・中島 重之
藤田 善照・松永 祐・水川 雅司・毛利 智

▼**アスリート委員会**
出木谷 啓太（委員長）
青木 将展・伊藤 真央・帯谷 大樹
菊地 太・篠田 智哉・長竹 康介
西山 俊・原 怜来・本多 辰也・山口 智史

▼**アンチドーピング委員会**
錦織 功延（委員長）
小西 由紀

▼**スポーツ育成委員会**
宮部 周作（委員長）
青木 克浩・荒井 閑・植木 将人
佐藤 文机子・田村 憲章・花岡 香那
▷**HTP コーチ・スタッフ**
荒井 閑・佐藤 文机子・田村 憲章
花岡 香那・北矢 宗志・笠原 政志
後関 慎司・清水 伸子・細川 英範
錦織 功延・筒井 健裕・三木 玲奈
山田 誠・青木 将展・植木 将人
小西 由紀・長竹 康介

▼**選手選考委員会**
宮部 周作（委員長）
青木 克浩・荒井 閑・川地 政夫
佐藤 文机子・田村 憲章・花岡 香那
北矢 宗志

2018年3月31日現在 2017 年度メンバー

【**国際ライフセービング連盟**】
相澤 千春（理事）
石川 仁憲 (Rescue Commission)
宮部 周作 (Sport Commission)
中川 容子 (Drowning Prevention
and Public Education Commission)
2016 年 9 月より任期 4 年

会員数と登録クラブ

2018年3月31日現在

Member

JLA total

3,650	139	199
members	clubs	beaches※

個人	正会員	14
	一般会員	2,275
	準一般会員	1,114
	高校生会員	247

※JLA会員のライフセーバーから活動報告のあった水浴場数

北海道 Hokkaido

北海道			
27	2	4	
members	clubs	beaches	

北海道支部

中部 Chubu

新潟県・富山県・石川県
福井県・山梨県・長野県
岐阜県・静岡県・愛知県

393	22	53
members	clubs	beaches

中部支部

東北 Tohoku

青森県・秋田県・岩手県
山形県・宮城県・福島県

95	6	4
members	clubs	beaches

東京本部

神奈川支部

関東 Kanto

群馬県・栃木県・茨城県・千葉県
埼玉県・東京都・神奈川県

2275	71	106
members	clubs	beaches

近畿 Kinki

三重県・滋賀県・京都府
大阪府・兵庫県・奈良県
和歌山県

327	5	8
members	clubs	beaches

中国 Chugoku

鳥取県・島根県・広島県
岡山県・山口県

204	13	11
members	clubs	beaches

四国 Shikoku

香川県・徳島県・愛媛県・高知県

63	1	2
members	clubs	beach

九州 Kyushu

福岡県・佐賀県・大分県・長崎県
熊本県・宮崎県・鹿児島県

229	14	7
members	clubs	beaches

沖縄 Okinawa

沖縄県

55	5	4
members	clubs	beaches

男女比



年齢比



登録クラブ

支部（5支部）

- ・北海道支部
- ・神奈川県支部
（NPO法人神奈川県ライフセービング連盟）
- ・中部支部
- ・九州支部
- ・沖縄県支部

地域LSクラブ（95クラブ）

- [北海道] 2
 - ・小樽ライフセービングクラブ
 - ・札幌ライフセービングクラブ
- [青森県] 1
 - ・つがるライフセービングクラブ
- [岩手県] 2
 - ・釜石ライフセービングクラブ
 - ・盛岡ライフセービングクラブ
- [宮城県] 1
 - ・気仙沼ライフセービングクラブ
- [秋田県] 1
 - ・秋田ライフセービングクラブ
- [山形県] 1
 - ・山形ライフセービングクラブ
- [東京都] 8
 - ・式根島ライフセービングクラブ
 - ・神津島ライフセービングクラブ
 - ・新島ライフセービングクラブ
 - ・三多摩ライフセービングクラブ
 - ・東京消防庁ライフセービングクラブ
 - ・三宅島ライフセービングクラブ
 - ・世田谷スイミングアカデミー
 - ・KITAJIMAQUATICS
- [神奈川県] 16
 - ・横浜海の公園ライフセービングクラブ
 - ・NPO法人西浜サーフライフセービングクラブ
 - ・三浦海岸サーフライフセービングクラブ
 - ・NPO法人湯河原ライフセービングクラブ
 - ・茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ
 - ・大磯ライフセービングクラブ
 - ・湘南ひらつかライフセービングクラブ
 - ・二宮ライフセービングクラブ
 - ・辻堂ライフセービングクラブ
 - ・鎌倉ライフガード
 - ・サーフ90鎌倉ライフセービングクラブ
 - ・サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ
 - ・サーフ90藤沢ライフセービングクラブ
 - ・葉山ライフセービングクラブ
 - ・NPO法人パディ冒険団
 - ・逗子サーフライフセービングクラブ
- [千葉県] 9
 - ・NPO法人九十九里ライフセービングクラブ
 - ・銚子ライフセービングクラブ
 - ・白浜ライフセービングクラブ
 - ・岩井ライフセービングクラブ
 - ・鴨川ライフセービングクラブ
 - ・和田浦ライフセービングクラブ
 - ・勝浦ライフセービングクラブ
 - ・館山サーフライフセービングクラブ
 - ・御宿ライフセービングクラブ
- [茨城県] 4
 - ・大洗サーフライフセービングクラブ
 - ・大竹サーフライフセービングクラブ
 - ・NPO法人鹿嶋ライフガードチーム
 - ・波崎サーフライフセービングクラブ
- [新潟県] 3
 - ・柏崎ライフセービングクラブ
 - ・新潟青山ライフセービングクラブ
 - ・佐渡ライフセービングクラブ
- [福井県] 1
 - ・若狭和田ライフセービングクラブ
- [愛知県] 1
 - ・愛知ライフセービングクラブ
- [静岡県] 12
 - ・今井浜サーフライフセービングクラブ
 - ・NPO法人下田ライフセービングクラブ
 - ・熱川ライフセービングクラブ
 - ・沼津ライフセービングクラブ
 - ・西伊豆・松崎ライフセービングクラブ
 - ・用宗ライフセービングクラブ
 - ・榛原ライフセービングクラブ
 - ・土肥ライフセービングクラブ
 - ・御浜ライフセービングクラブ
 - ・相良サーフライフセービングクラブ
 - ・NPO法人浜松ライフセービングクラブ
 - ・熱海ライフセービングクラブ
- [大阪府] 2
 - ・NPO法人大阪ライフセービングクラブ
 - ・せんなん里海公園・淡輪ライフセービングクラブ
- [兵庫県] 1
 - ・NPO法人神戸ライフセービングクラブ
- [京都府] 1
 - ・NPO法人京都ライフセービング
- [広島県] 1
 - ・安芸ライフセービングクラブ
- [鳥取県] 3
 - ・NPO法人皆生ライフセービングクラブ
 - ・岩美ライフセービングクラブ
 - ・鳥取大学発ライフセービングクラブ
- [島根県] 2
 - ・キララライフセービングクラブ
 - ・NPO法人浜田ライフセービングクラブ
- [岡山県] 1
 - ・岡山ライフセービングクラブ
- [山口県] 5
 - ・山口ライフセービングクラブ
 - ・NPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブ
 - ・萩サーフライフセービングクラブ
 - ・関門ライフセービングクラブ
 - ・吉母ライフセービングクラブ
- [徳島県] 1
 - ・徳島ライフセービングクラブ
- [福岡県] 4
 - ・宗像ライフセービングクラブ
 - ・福岡ライフセービングクラブ
 - ・新宮ライフセービングクラブ
 - ・ふくつライフセービングクラブ
- [大分県] 1
 - ・NPO法人大分ライフセービングクラブ
- [宮崎県] 3
 - ・NPO法人宮崎ライフセービングクラブ
 - ・富士ライフセービングクラブ
 - ・日向ライフセービングクラブ
- [鹿児島県] 3
 - ・かごしま磯ライフセービングクラブ
 - ・奄美ライフセービングクラブ
 - ・屋久島ライフセービングクラブ
- [沖縄県] 5
 - ・万座ライフガードチーム

- ・北谷公園サンセットビーチライフセービングクラブ
- ・今帰仁ライフセービングクラブ
- ・琉球ライフセービングクラブ
- ・座間味ライフセービングクラブ

学校LSクラブ（44クラブ）

- [東京都] 24
 - ・日本女子体育大学ライフセービングクラブ
 - ・拓殖大学ライフセービングクラブ
 - ・専修大学サーフライフセービング愛好会
 - ・日本体育大学ライフセービングクラブ
 - ・東京女子体育大学ライフセービングクラブ
 - ・国士舘大学ライフセービングクラブ
 - ・早稲田大学ライフセービングクラブ
 - ・杏林大学ライフセービングクラブ
 - ・中央大学ライフセービングクラブ
 - ・東洋大学サーフライフセービングクラブ
 - ・成蹊大学ライフセービングクラブ
 - ・法政大学サーフライフセービングクラブ
 - ・実践女子大学ライフセービングクラブ
 - ・日本大学サーフライフセービングクラブ
 - ・國學院大學ライフセービングクラブ
 - ・玉川大学ライフセービングクラブ
 - ・明治大学サーフライフセービングクラブ
 - ・青山学院大学ライフセービングクラブ
 - ・明星大学ライフセービングクラブ
 - ・成城学園ライフセービングクラブ
 - ・十文字高等学校ライフセービングクラブ
 - ・昭和第一学園高等学校ライフセービングクラブ
 - ・帝京大学ライフセービングクラブ
 - ・日体荏原高等学校ライフセービングクラブ
- [神奈川県] 3
 - ・東海大学湘南校舎ライフセービングクラブ
 - ・神奈川大学ライフセービングクラブ
 - ・文教大学ライフセービングクラブ
- [埼玉県] 1
 - ・武蔵丘短期大学ライフセービングクラブ
- [千葉県] 3
 - ・国際武道大学ライフセービングクラブ
 - ・順天堂大学ライフセービングクラブ
 - ・千葉科学大学ライフセービングクラブ
- [茨城県] 3
 - ・筑波大学ライフセービングクラブ
 - ・流通経済大学ライフセービングクラブ
 - ・茨城大学サーフライフセービングクラブ
- [新潟県] 1
 - ・新潟産業大学ライフセービングクラブ
- [福井県] 1
 - ・福井県立大学ライフセービングクラブ
- [愛知県] 2
 - ・中京大学ライフセービングクラブ
 - ・日本福祉大学ライフセービングクラブ
- [静岡県] 1
 - ・東海大学海洋学部ライフセービングクラブ
- [大阪府] 1
 - ・大阪体育大学ライフセービングクラブ
- [広島県] 1
 - ・広島国際大学ライフセービングクラブ
- [福岡県] 2
 - ・九州産業大学ライフセービングクラブ
 - ・福岡大学ライフセービングクラブ
- [鹿児島県] 1
 - ・鹿児島国際大学ライフセービングクラブ

活動の海岸

[illegible]

パトロールログ 2017 トピックス

JLA へ登録いただいている全国の監視活動エリアから提出された報告書（199 カ所）より、集計可能なデータを対象にまとめました。（2016 年度提出 204 件）

	2017		2016		2015
報告水浴場数	199カ所		204		197カ所
水浴客総入込数	8,500,024人		11,727,383		11,260,363人
ライフセーバー 総数	41,847人		44,212		47,020人
パトロール延日数	8,121日		8,466		8,018日
パトロール延時間	336,562時間		350,736		381,473時間
レスキュー総数	1,796件		2,276		3,163件
Emergency Care	15件		37		40件
	＜内訳＞死亡 4 蘇生 10 不明 1		＜内訳＞死亡 9 蘇生 15 不明 13		＜内訳＞死亡 16 蘇生 16 不明 8
Preventive Action	1,781件		2,239		3,123件
ファーストエイド総数	21,672件		20,120		22,160件
迷子総数	979件		999		1,123件
救急搬送件数	110件		145		160件

【BLS & Water Safety プログラム参加実績数】

	2017		2016		2015
BLS	7,624人		8,321		9,553人
Water Safety	10,040人		8,862		9,383人

* 資格認定講習会とライフセービングサポーター講習会の受講者総数です

JLA ACADEMY

資格認定講習会の開催・資格認定数

資格名	2017 開催数	2017 発行数	2016 開催数	2016 発行数	2015 開催数	2015 発行数
BLS	129	1,880	152	2,081	138	2,051
ウォーターセーフティ	93	2,710	99	2,890	97	2,878
ベーシック・サーフ・ライフセーバー	50	734	48	727	50	685
アドバンス・サーフ・ライフセーバー	17	143	16	146	13	100
IRB・クルー	2	15	1	7	3	17
IRB・ドライバー	1	7	1	5	2	3
プール・ライフガード	8	72	*	*	*	*
アドバンス・プール・ライフガード	4	29	*	*	*	*
リーダー	6	52	6	63	5	32
資格更新	72	512	79	604	85	702
指導員（新規）	4	56	3	52	1	13
指導員（継続）	*	277				
合計	386	6,210	405	6,575	394	6,481

ライフセービングサポーター講習会の開催・参加数

* ライフセービングサポーターは修了証を発行しています

資格名	2017 開催数	2017 発行数	2016 開催数	2016 発行数	2015 開催数	2015 発行数
ウォーターセーフティ	60	7,330	42	5,972	45	6,505
B L S	79	5,744	86	6,240	113	7,502
合計	139	13,074	128	12,212	158	14,007

資格認定講習会と指導員養成

■資格認定講習会開催数・資格認定数
上記別表のとおり

■資格認定講習会および
ライフセービングサポーター講習会
等の普及・促進事業

地方開催等の資格認定講習会（指導者養成、更新講習会含む）での指導員に関わる派遣旅費を補助した。また、ライフセービングサポーター講習会での実施諸経費を一部補助した。

■『プール・ライフガーディング教本』
の発刊
プール・ライフガーディング講習会の公式テキストである『プール・ライガーディング教本』を発刊した。

■指導員養成講習会の開催

- ①BLS 指導員養成（全 5 回 計 56 名）
- ②Water Safety 指導員養成（全 3 回 計 37 名）
- ③サーフライフセービング指導員養成（全 3 回 計 21 名）
- ④ジュニアライフセービング指導員養成（全 1 回 計 7 名）

■市区町村教育委員会への
教員研修協力事業

東京都足立区教育委員会主催による小・中学校の教員を対象（任意）とした水辺の事故防止講習会（学科、実技）を実施した。
月日：6 月 1 日（木）
会場：足立区千住温水プール（東京都）
参加：60 名

■東京私立中学高等学校協会への
教員研修協力事業

保健体育科教諭を対象とし、BLS の指導案、授業実践のポイント、評価に関する研修会を実施した。

青少年・児童への
水辺の安全教育・防災教育事業

■臨海学園ライフセービング指導協力

東京都北区教育委員会からの受託により、北区内中学生に対してライフセービングの指導・防災教育を行った。
月日：7月21日(金)～8月14日(月)
場所：岩井海岸（千葉県南房総市）
人数：1,364名

■中学校体育（水泳）における
ライフセービング教室の実施

東京都品川区戸越台中学校からの受託により、校内プールでライフセービングの指導・防災教育を行った。
月日：6月17日（土）
場所：戸越台中学校プール（東京都）
人数：103名

■第一三共株式会社協賛事業

小中学生 150名に対してライフセービング教室を実施した。
◇7月23日（日）参加：49名
シーサイドももち海浜公園（福岡県）
協力：九州・沖縄ブロック
◇7月29日（土）参加：53名
三浦海岸海水浴場（神奈川県三浦市）
協力：三浦海岸 SLSC
◇8月5日（土）参加：48名
吉里吉里海水浴場（岩手県）
協力：盛岡 LSC

■全国ライフセービング教室の開催
＜日本財団助成事業＞

小中学生を対象に登録クラブが主催となりジュニア教室を実施した。なお、教室実施の主催者にはニッパード・ジュニア用キャップ・ジュニアテキスト・ジュニアリーフレットを提供した。

実施クラブ	参加数
岩井 LSC	17
大磯 LSC	20
大分 LSC	14
太竹 SLSC	7
岡山 LSC	8
小樽 LSC	20
勝浦 LSC	30
関門 LSC	215
京都 LSC	9
九十九里 LSC	16
辻堂 LSC	荒天中止
西伊豆松崎 LSC	6
榛原 LSC	20
萩 SLSC	447
盛岡 LSC	17
山形 LSC	22
横浜海の公園 LSC	20
合計	888

■ジュニア・ライフセービング
プログラムに関連するテキスト等の製作
＜日本財団助成事業＞

以下のものを製作した。
◇ジュニアテキスト 3,000部
◇ジュニアリーフレット 1,000部
◇JLA ACADEMYリーフレット 10,000部
◇サポーター修了証 10,000部

■学生ライフセービングの普及啓発事業

学校クラブのリーダーを対象としたミーティングを開催し組織強化と情報交換促進をはかった。
◇学生リーダーズキャンプ
月日：2月24日（土）25日（日）
場所：国立オリンピック記念
青少年総合センター（東京都）
参加：23校 68名

■防災力強化事業

ライフセーバーのパトロールやクラブ活動中における津波対策や防災減災対策についての協議をレスキューミーティングと連携して実施した。

■学校教育ライフセービングモデル事業

2015年12月に締結した千葉県御宿町とのスポーツ・教育・溺水事故防止の活動実績をふまえ、JLAが進めるモデル事業の一環として協力関係を継続した。

2017年度のJLA ACADEMY本部は、新設されたLS教育本部と役割分担を行い、資格発行及びサポーター講習会により特化した活動を行った。その核となる資格発行数は6,210、講習会は全国各地で386回開催した（2012年のACDEMY発足からの累計、資格発行数：37,274、講習会開催数：2,273回）。中でも指導員養成講習会は、カリキュラムの見直しを行い、積極的に開催した結果、昨年を上回り56人の新規指導員（BLS）が誕生した。資格継続している277人と合わせて333人の指導員が現在活動していることになる。さらにIRBとプール指導員の特別移行講習会を行い、IRBとプールとも17人が新たに指導員資格を取得した。また資格発行を伴わないサポーター講習会は139回開催し、BLSとWS合わせて13,074人に行った。

新たに行った試みとして、プールライフガーディング教本の発行及びプールライフガード講習会のスタート。さらにサーフライフセービング教本の改訂を行った。また指導員の指導スキルアップの為、公開講習会（アドバンスサーフLS・指導員養成講習）や全日本選手権時に指導法研修会を実施した。さらにマスターズ水泳協会との共催で参加者に対するサポーター講習会や東京オリンピック・パラリンピックの応援プログラムとして港区でBLSサポーター講習会も実施した。

ACADEMY事業は、指導員を通じて、国民の直接ライフセービングを伝えていく事業である。より多くの方にライフセービングを伝えるためには指導員を増やしていくことが重要であるが、それと同時に指導員の質を保っていくこともさらに重要である。指導員の質とは何であろうか？卓越した技術・知識に加え、指導力や人間的魅力、さらにライフセービングに対する情熱などがあるだろう。JLAの指導員の最大の強みは、「現場を知っている」ということである。我々は「水辺の事故ゼロ」を目指して活動している。しかしその困難さを誰よりも知っている。だからこそライフセービングの必要性を伝えられるのである。333人の指導員が、各現場で得た技術・知識をベースに、熱意を持って伝え続ける。さらに次代の指導員を育てていく。その積み重ねが「水辺の事故ゼロ」に繋がることを信じてやまない。

最後にACADEMY事業に対して助成を頂いた日本財団・モナコ公妃財団に多大なる感謝をいたします。

2017年度
JLA ACADEMY 本部長 風間 隆宏

2017 年度指導員資格認定		
青木 智輝 / 勝浦 LSC	坂入 綾菜 / 西浜 SLSC	長峰 慧 / 御浜 LSC
浅野 響 / 波崎 SLSC	寒河江 健太 / KITAJIMAQUATICS/ 大磯 LSC	西山 俊 / 湯河原 LSC
安達 雄太 / 所属無し	櫻井 拓巳 / 相良 SLSC/ 東海大学海洋学部 LSC	布廣 秀匡 / 愛知 LSC
天野 駿介 / 榛原 LSC/ 東海大学海洋学部 LSC	櫻井 美乃 / 九十九里 LSC/ 日本大学 SLSC	橋本 和希 / 沼津 LSC/ 東海大学海洋学部 LSC
飯田 碧 / 大洗 SLSC/ 茨城大学 SLSC	佐々木 勝馬 / 柏崎 LSC	早狩 洋佑 / 大洗 SLSC/ 茨城大学 SLSC
石塚 円香 / 鴨川 LSC	佐々木 啓允 / 相良 LSC	久木 充 / 山形 LSC
出井 裕之 / 山形 LSC	篠 岳瑠 / 西浜 SLSC	平本 大典 / 勝浦 LSC
井上 悠 / 榛原 LSC	柴崎 宏武 / 西浜 SLSC/ 安芸 LSC	丸 琢哉 / 御浜 LSC
猪又 美佳 / 茅ヶ崎 SLSC/ 二宮 LSC	嶋田 廣人 / 相良 SLSC	三上 竜之介 / 所属無し
今井 夏希 / 新島 LSC/ 流通経済大学 LSC	鈴木 翔大 / 大洗 SLSC/ 茨城大学 SLSC	三井 結里花 / 大磯 LSC/ 九十九里 LSC
加藤 智美 / 葉山 LSC	鈴木 佑弥 / 榛原 LSC	三好 徹 / 三浦海岸 SLSC
河合 利紀 / 浜松 LSC	住瀬 秋彦 / 徳島 LSC	村上 等 / 山形 LSC
紀平 航佑 / 沼津 LSC	谷川 あおい / 波崎 SLSC	諸節 智章
木村 忠博 / 北谷公園 LSC	田原 茂行 / 所属無し	八代 岳人 / 榛原 LSC
倉田 開 / 沼津 LSC	千葉 理恵子 / 気仙沼 LSC	谷中 健文 / 浜松 LSC
小島 かおり / 大洗 SLSC/ 東京女子体育大学 LSC	出木谷 啓太 / 九十九里 LSC	山本 結子 / 相良 SLSC
小堀 友里亜 / 日本女子体育大学 LSC	硯屋 大河 / 用宗 LSC/ 東海大学海洋学部 LSC	弓削 匠 / 順天堂大学 LSC
小山 広将 / 館山 SLSC/ 流通経済大学 LSC	外山 聡太 / 流通経済大学 LSC	和田 賢一 / 式根島 LSC
齋藤 圭佑 / 逗子 SLSC/ 成城学園 LSC	中川 健 / 辻堂 LSC	

ライフセービングスポーツ

JLA 主催・公認競技会の開催

大会名	開催日	会場	参加数
第30回全日本プール競技選手権	5月20日(土)～21日(日)	横浜プール(神奈川県)	47チーム 541
第30回全日本種目別選手権	6月3日(土)～4日(日)	本須賀海岸(千葉県)	56チーム 546
第9回全日本ユース競技会	6月10日(土)～11日(日)	岩井海岸(千葉県)	18チーム 242
第18回オシダ・ファルパ in 白浜	6月18日(日)	白良浜海岸(和歌山県)	実施なし
三洋物産インターナショナルカップ	6月24日(土)～26日(月)	シーサイド百道(福岡県)	7か国 8チーム
第14回JLA競技会	8月26日(土)～27日(日)	岩井海岸(千葉県)	12チーム 149
全日本西日本地区予選会	9月3日(日)	若狭和田海岸(福井県)	10チーム 69
全日本中部地区予選会	9月9日(土)～10日(日)	下田白浜海岸(静岡県)	13チーム 338
全日本東日本地区予選会	9月16日(土)～17日(日)	御宿海岸(千葉県)	35チーム 850
第32回全日本学生選手権	9月23日(土)～24日(日)	御宿海岸(千葉県)	41チーム 643
第43回全日本選手権	10月7日(土)～8日(日)	片瀬西浜海岸(神奈川県)	64チーム 1266
第5回全日本ジュニア・スプリング競技会	12月16日(土)～17日(日)	宮城県プール(宮城県)	13チーム 181
第9回全日本学生プール競技選手権	1月27日(土)～28日(日)	富士水泳場(静岡県)	33チーム 627

C級認定審判員養成講習会の開催

開催日	会場	資格発行数
4月9日(日)	東京スポーツレクリエーション専門学校(東京都)	24
4月23日(日)	柏崎市民プラザ(新潟県)	5
5月6日(土)	大阪体育大学(大阪府)	27
5月13日(土)	ももちパレス(福岡県)	15
5月13日(土)	愛知LSCクラブハウス(愛知県)	7
5月14日(日)	東京女子体育大学(東京都)	13
5月27日(土)	国際武道大学(千葉県)	8
6月18日(日)	東京スポーツレクリエーション専門学校(東京都)	18
7月2日(日)	神明いきいきプラザ(東京都)	24
7月9日(日)	港南いきいきプラザ(東京都)	18
8月5日(土)	昭和第一学園高等学校(東京都)	8
11月4日(土)	徳島県民活動プラザ(徳島県)	10
12月2日(土)	港勤労福祉会館(東京都)	47
12月3日(日)	神明いきいきプラザ(東京都)	39
12月9日(土)	流通経済大学(茨城県)	11
12月10日(日)	東海大学湘南校舎(神奈川県)	20
1月21日(日)	成城大学(東京都)	12
1月21日(日)	静岡市清水市民活動センター(静岡県)	16
2月10日(土)	国士舘大学(東京都)	25
3月10日(土)	成城大学(東京都)	6
3月24日(土)	日本体育大学荏原高等学校(東京都)	24
3月31日(土)	日本体育大学(東京都)	27
	合計	404

審判員研修会の開催

開催日	会場	参加数
5月13日(土)	シーサイドももち海滨公園(福岡県)	20
12月3日(日)	神明いきいきプラザ(東京都)	24
2月17日(土)	神戸市勤労会館(兵庫県)	8
3月25日(日)	東京辰巳国際水泳場(東京都)	13
	合計	65

ライフセービングスポーツ

■ジュニアユースライフセービング スポーツクリニック

小・中・高校生を対象にライフセービングスポーツの普及、技術向上を目的に計373名へクリニックを実施した。
＜助成：スポーツ振興くじ＞

▽6月11日(日)9名
岩井海岸(千葉県)
▽8月26日(土)92名
岩井海岸(千葉県)
▽9月16日(土)21名
田ノ浦ビーチ(大分県)
▽11月18日(土)30名
岩手県宮屋内温水プール(岩手県)
▽11月26日(日)30名
カワサキスイミングクラブ(神奈川県)
▽12月16日(土)191名
宮城県総合プール(宮城県)

■ジュニアユースライフセービング 練習会

小・中・高校生で競技経験者を対象にライフセービングスポーツの普及、技術向上を目的に、計114名へ実施した。

▽4月16日(土)16名
片瀬東浜海水浴場(神奈川県)
▽5月14日(日)15名
湘南平塚ビーチパーク(神奈川県)
▽8月6日(日)8名
本須賀海岸(千葉県)
▽9月3日(日)11名
湘南平塚ビーチパーク(神奈川県)
▽10月1日(日)11名
片瀬東浜海水浴場(神奈川県)
▽11月23日(木)37名
日体大荏原高等学校(東京都)
▽1月7日(日)10名
カワサキスイミングクラブ(神奈川県)
▽2月4日(日)6名
カワサキスイミングクラブ(神奈川県)

■医・科学に関する事業

ライフセーバーのコンディショニング等、スポーツ医科学的サポートを行った。
①公式競技会トレーナーステーションの設置(協力：国際武道大学トレーナーチーム)
②日本代表チームおよび強化指定選手のサポート
③アンチ・ドーピングに関する教育・啓蒙活動(協力：日本アンチ・ドーピング機構)

▽アウトリーチプログラム
・5月20日(土)～21日(日)
全日本プール競技選手権大会
32名
・1月27日(土)～28日(日)
全日本学生プール競技選手権大会
74名
▽アンチ・ドーピング教育プログラム
6月3日(土)
全日本種目別選手権大会
82名
▽日本代表選手へのアンチ・ドーピング教育プログラム
6月10日(土)
代表選手強化合宿
10名

■水辺等における各種イベントの 安全管理に関する事業

①イベント安全管理委員会にて各地でのオープンウォータースイミング(日本水泳連盟)やトライアスロン(日本トライアスロン連合)の安全管理及び資格認定講習会を開催し現地安全担当者を育成した。
②「オープンウォータースイミング水上安全ガイド

■認定審判員ユニフォーム支援事業

「認定審判員ユニフォーム規程」にもとづきユニフォーム支援と追加販売を継続した。ライン」を発刊した。



ライフセービングスポーツ

ハイパフォーマンスプログラム

強化プログラムにもとづく強化指定選手への強化合宿を実施した。

■第 10 期強化指定選手

(ハイパフォーマンスチーム：HPT)
2016 年 11 月 1 日～2018 年 10 月 31 日

2017 年 5 月入替時指定選手

トップチーム	
安藤秀	湯河原 LSC
上野凌	西浜 SLSC
小田切伸矢	西浜 SLSC
園田俊	西浜 SLSC
西山俊	湯河原 LSC
平野修也	辻堂 LSC
堀江星彦	勝浦 LSC
森新太郎	銚子 LSC
和田賢一	式根島 LSC
我妻菜登	勝浦 LSC
栗真千里	銚子 LSC
但野安菜	勝浦 LSC
名須川紗綾	茅ヶ崎 LSC
三井結里花	九十九里 LSC
山本裕紀子	若狭和田 LSC

強化育成チーム	
池端拓海	九十九里 LSC/ 日本大学 SLSC
市川巧基	昭和第一学園 LSC
桑川拓海	下田 LSC
小松海登	波崎 LSC
佐藤悠太	波崎 LSC
篠田智哉	勝浦 LSC
高梨友美生	成城学園 LSC
出木谷啓太	九十九里 LSC
中村冠	昭和第一学園 LSC
新川将吾	神奈川大学 LSC
幡野圭祐	白浜 LSC
廣田諒	西浜 SLSC
堀内敦貴	銚子 LSC
森野郁也	日体大荏原 LSC
上野真凜	西浜 SLSC
石塚円香	鴨川 LSC
川隅由貴	大竹 SLSC
黒岩美緒	日本女子体育大学 LSC
白鳥紗貴	波崎 LSC
高橋志穂	柏崎 LSC
田中綾	昭和第一学園 LSC
成澤侑花	九十九里 LSC/ 日本大学 SLSC
前川紗楓	柏崎 LSC
山口茜	日本女子体育大学 LSC

■強化事業強化指定選手強化合宿関連

強化プログラムにもとづく強化指定選手への国内合宿を実施した。

▽強化合宿（プール）	4 月 22 日（土）～ 23 日（日） 28 名 都内プール（東京都）
▽強化合宿（日本代表）	6 月 10 日（土）～ 11 日（日） 10 名 岩井海岸（千葉県）
▽強化合宿（日本代表）	7 月 2 日（日） 20 名 日大藤沢高校（神奈川県）
▽強化合宿（日本代表）	7 月 13 日（木） 20 名 横浜国際プール（神奈川県）
▽強化合宿（プール他）	12 月 9 日（土）～ 10 日（日） 15 名 横浜桐蔭大学（神奈川県）
▽強化合宿（プール他）	12 月 27 日（水）～ 30 日（土） 42 名 鈴鹿スポーツガーデン（三重県）
▽強化合宿（プール他）	1 月 20 日（土）～ 21 日（日） 26 名 国際武道大学（千葉県）
▽強化合宿（プール他）	3 月 10 日（土）～ 11 日（日） 40 名 国 際武道大学（千葉県）
▽強化合宿（プール他）	3 月 31 日（土）～ 4 月 1 日（日） 28 名 郡山開成山プール（福島県）

日本代表チーム関連

ハイパフォーマンスチームより各国際大会へ、日本代表選手を派遣した。

■三洋物産インターナショナル ライフセービングカップ 2016

開催日：6 月 24 日（日）～ 6 月 26 日（月）
開催地：シーサイドももち海滨公園
百道浜地区東側（福岡県福岡市早良区）

主催：日本ライフセービング協会
特別協賛：株式会社三洋物産 / 株式会社三洋販売
後援：福岡県、福岡市、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
協力：公益財団法人福岡県国際交流センター、日本ライフセービング協会九州・沖縄県ブロック
参加国：オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、南アフリカ、オランダ、香港、日本 A、日本 B

【日本代表チーム編成】

監督 佐藤文机子 / スポーツ本部副本部長・スポーツ育成委員会
コーチ 北矢 宗志 / HPT コーチ
田村 憲章 / スポーツ育成委員会 / HPT コーチ
トレーナー 神崎 智大 / HPT トレーナー
細川 英範 / HPT トレーナー
日本 A
上野 凌 / 西浜 SLSC
園田 俊 / 西浜 SLSC
西山 俊 / 湯河原 LSC
森 新太郎 / 銚子 LSC
和田 賢一 / 式根島 LSC
栗 真千里 / 銚子 LSC
但野 安菜 / 勝浦 LSC
田中 綾 / 昭和第一学園 LSC
三井 結里花 / 大磯 LSC / 九十九里 LSC
山本 裕紀子 / 若狭和田 LSC
日本 B
池端 拓海 / 九十九里 LSC / 日本大学 SLSC
桑川 拓海 / 下田 LSC
小松 海登 / 波崎 SLSC
高梨 友美生 / 成城学園 LSC
廣田 諒 / 西浜 SLSC
石塚 円香 / 鴨川 LSC
白鳥 紗貴 / 波崎 SLSC
高橋 志穂 / 柏崎 LSC
成澤 侑花 / 九十九里 LSC / 日本大学 SLSC
山口 茜 / 日本女子体育大学 LSC

ライフセービングスポーツ

【競技結果】

1 位	オーストラリア	854
2 位	日本 A	711
3 位	ニュージーランド	703
4 位	南アフリカ	596
5 位	アメリカ	558
6 位	日本 B	551
7 位	オランダ	472
8 位	香港	315

■第 10 回ワールドゲームズ

期間：2017 年 7 月 21 日（金）～ 22 日（土）
大会会場：ポーランド共和国

【日本代表 選手団】

団長：入谷 拓哉 / 理事長
監督：佐藤 文机子
/ スポーツ本部副本部長・スポーツ育成委員会
トレーナー：細川 英範 / HPT トレーナー
通訳：鈴木 慎一 / 国際室
審判員：水川 雅司 / 競技運営・審判委員会
選手

安藤 秀 / 湯河原 LSC
上野 凌 / 西浜 SLSC
西山 俊 / 湯河原 LSC
幡野 圭祐 / 白浜 LSC
園田 俊 / 西浜 SLSC
平野 修也 / 辻堂 LSC
我妻 菜登 / 勝浦 LSC
栗 真千里 / 銚子 LSC
成澤 侑花 / 九十九里 LSC / 日本大学 SLSC
三井 結里花 / 大磯 LSC / 九十九里 LSC
山本 裕紀子 / 若狭和田 LSC

【競技結果】

1 位	イタリア
2 位	オーストラリア
3 位	ドイツ
4 位	フランス
5 位	ニュージーランド
6 位	ポーランド
7 位	日本
8 位	スペイン
9 位	中国
10 位	ベルギー

【世界新記録樹立】

団体種目 男子 4x50m 障害物リレー
（平野・西山・幡野・安藤）
決勝 1.36.62(WR) 1 位

■インターナショナル・

サーフ・レスキューチャレンジ
期間：2017 年 11 月 30 日（木）～ 12 月 3 日（日）
大会会場：ニュージーランド

【日本代表 選手団】

監督：佐藤 文机子
/ スポーツ本部副本部長・スポーツ育成委員会
コーチ：田村 憲章 / スポーツ育成委員会 / HPT コーチ
トレーナー：神崎 智大 / HPT トレーナー
通訳：鈴木 慎一 / 国際室
選手

池端 拓海 / 九十九里 LSC
小松 海登 / 波崎 SLSC
園田 俊 / 西浜 SLSC
西山 俊 / 湯河原 LSC
堀江 星彦 / 勝浦 LSC
森 新太郎 / 銚子 LSC
石塚 円香 / 鴨川 LSC
栗 真千里 / 銚子 LSC
高橋 志穂 / 柏崎 LSC
田中 綾 / 昭和第一学園 LSC
三井 結里花 / 大磯 LSC / 九十九里 LSC
山本 裕紀子 / 若狭和田 LSC

【競技結果】

	Day1/Day2/Day3/Total
1 位	オーストラリア 148/145/152/445
2 位	ニュージーランド 142/143/127/412
3 位	アメリカ 88/83/100/271
4 位	南アフリカ 86/86/77/249
5 位	日本 79/75/87/241
6 位	イギリス 76/81/76/233
7 位	カナダ 20/20/17/57



溺水防止救助救命

水浴場監視・救助等業務

■水辺の溺水事故防止に向けた調査・研究
団体加盟クラブにより、全国 199ヶ所において監視救助活動を行った。また、全国パトロール統計調査を実施し「全国パトロール統計」としてまとめた。

■受託業務

下記市町村の海水浴場開設者からの受託により7地区26カ所で監視救助活動を行った。

パトロール活動支援事業

■パトロールユニフォーム等

団体加盟クラブを通じ以下の物品を会員に提供および一部販売した。

- ▽パトロールユニフォーム（上・下）
- ▽パトロールスィムウェア
- ▽OS-1（協賛：株式会社大塚製薬工場）

■救助器材支援事業＜助成：日本財団＞

団体加盟クラブに対し申請にもとづき以下の物品を提供した。

- ▽レスキューボード 80本
- ▽レスキューチューブ 100本

■サーフビレッジ器材庫の管理

サーフビレッジ（神奈川県藤沢市）のライフセービング器材庫の管理を NPO 法人西浜 SLSC に委託し、年間を通じて器材保管メンテナンスを実施した。

■JLA 認定海水浴場認証事業

JLA 認定海水浴場 * として海水浴場の安全性を総合的に検討した。
・泊海水浴場（東京都式根島）

* 認定海水浴場とは、

ILS Risk Assessment Framework に基づき、JLA Beach Risk Assessment Method により総合的に海水浴場の安全性を評価し、有識者で構成される「JLA 海水浴場安全性評価特別委員会」での審議を経て、一定の基準を満たした場合に認定する制度である。（3 年更新）。

溺水事故防止活動

■レスキューミーティング

「水辺の事故ゼロ」を目指し、より質の高い監視・救助活動を行うことを目的に、溺水事故防止に関する事項、溺水事故の事例検証等について議論するミーティングを実施し、全 8 回合計 348 名が参加した。

- ▽6月10日（土）40名
神奈川県平塚市
- ▽6月25日（日）100名
千葉県山武市
- ▽7月8日（土）24名
兵庫県神戸市須磨
- ▽10月7日（土）107名
神奈川県藤沢市
- ▽11月12日（日）15名
福岡県新宮市
- ▽12月16日（土）15名
香川県高松市
- ▽3月3日（土）36名
鳥取県鳥取市
- ▽3月4日（日）11名
宮城県仙台市

■サーフトレーニングクリニック

資格取得後の活動をサポートするため、ライフセーバーのサーフトレーニング中の事故防止とスキルアップを目的として、リスクアセスメントに関する講義と練習会を全4回（参加人数合計116名）実施した。

- ▽11月19日（日）10名
御宿海岸（千葉県）
- ▽11月25日（土）14名
片瀬西浜海岸（神奈川県）
- ▽11月26日（日）63名
蓮沼海岸（千葉県）
- ▽3月3日（土）29名
浦富海岸（鳥取県）

■クラブマネジメントミーティング

地域クラブを対象としてクラブマネジメントに関する問題点・課題を整理し持続可能なクラブマネジメント方策について議論した。全2回、合計46名参加。

- ▽4月16日（日）15名
徳島県
- ▽3月4日（日）31名
鳥取県

■第2回 JLA シミュレーション審査会

ライフセーバーのパトロール技能の向上と公的救助機関との連携強化を目的に JLA シミュレーション審査会を実施した。

- ▽11月11日（土）5チーム
新宮海岸（福岡県）
- ▽12月2日（土）6チーム
片男波海岸（和歌山県）
- ▽12月3日（日）16チーム
葉山大浜海岸（神奈川県）

【審査結果】

- 11月11日（土）／新宮海岸（福岡県）
- ・理事長賞
広島国際大学ライフセービングクラブ
 - ・メディカルダイレクター賞
広島国際大学ライフセービングクラブ
 - ・功労賞
新宮ライフセービングクラブ

- 12月2日（土）／片男波海岸（和歌山県）
- ・理事長賞
神戸ライフセービングクラブ B
 - ・溺水防止救助救命本部長賞
横浜海の公園ライフセービングクラブ A
 - ・メディカルダイレクター賞
横浜海の公園ライフセービングクラブ A
 - ・功労賞
大阪ライフセービングクラブ

- 12月3日（日）／葉山大浜海岸（神奈川県）
- ・理事長賞
横浜海の公園ライフセービングクラブ B
 - ・溺水防止救助救命本部長賞
大竹サーフライフセービングクラブ
西浜サーフライフセービングクラブ
中央大学ライフセービング部
 - ・メディカルダイレクター賞
横浜海の公園ライフセービングクラブ B
九十九里ライフセービングクラブ
 - ・功労賞
チーム：葉山ライフセービングクラブ
エキストラ：中川 健

溺水防止救助救命

■海辺の Water Safety キャンペーン

海辺の溺水事故防止の実践活動、啓蒙活動として、夏季海水浴シーズン前、シーズン中の6～8月の3ヶ月間を対象に、溺水事故防止に関して取り組んだ。

- ▽ホームページ/SNS で情報発信。
離岸流と助けてサイン
海辺の安全情報
ライフジャケット活用
危険な海洋生物

- ▽「飲んだら泳がない」キャンペーン
協賛：サッポロホールディングス株式会社
8月5日（土）御宿海岸（千葉県）
8月9日（水）三浦海岸（神奈川県）

■海水浴場の視察

海水浴場の特徴とライフセーバー活動状況を把握するとともに、新たな課題や検討事項、要望事項を抽出することを目的に実施した。パトロールユニフォームに関する要望も聴取し、次年度へ向けた課題点を精査する。

- ・茨城県（鹿島、波崎）
- ・千葉県（銚子、御宿、勝浦、和田浦、館山）
- ・神奈川県（横浜海の公園、三浦海岸、葉山、逗子、鎌倉）

■ウォーターセーフティシンポジウム

東日本大震災では死因の 92.4% が溺死、その災害から 7 年が経ち、東海・南海地震等の大規模自然災害の発生が危惧される今日において、国民の安全・安心をより強化していくために、一般市民（バイスタンダー）やライフセーバーに期待する能力（責務）について、平時、有事の活動、公的救助機関との連携などもふまえて議論した。

- 3月11日（日）
会場：成城大学（東京都）
参加：300名

＜テーマ＞

3.11 災害を経験した我々にこれからできること

＜演 者＞

- 1) わが国における想定津波被害と防災減災
大阪大学大学院工学研究科
教授 / 青木 伸一
- 2) 東日本大震災時の消防の対応と今後の防災減災対策
総務省消防庁国民保護・防災部
地域防災室長 / 天利和紀
- 3) 東日本大震災時の海上保安庁の対応と今後の防災減災対策
海上保安庁警備救難部環境防災課
防災対策官 / 吉田勝昭
- 4) 自然災害時にバイスタンダーに求めるもの
岸和田徳洲会病院救急救命センター長
医師 / 鍛冶有登
- 5) 自然災害に備え、私たちができる防災・減災への取り組みについて
公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
事業部 / 林未来
- 6) 災害に対する国民の自助共助力の向上にむけて
日本赤十字社神奈川県支部
内田直人
- 7) 自然災害に対する国民の自助共助力の向上にむけて
日本ライフセービング協会
副理事長 / 松本貴行



国際会議・事業派遣および
国際会議開催事業

■ILS 理事会
ILS アジアパシフィック支部理事会
ILS 専門委員会
WORLD CONFERENCE
ON DROWNING PREVENTION 2017

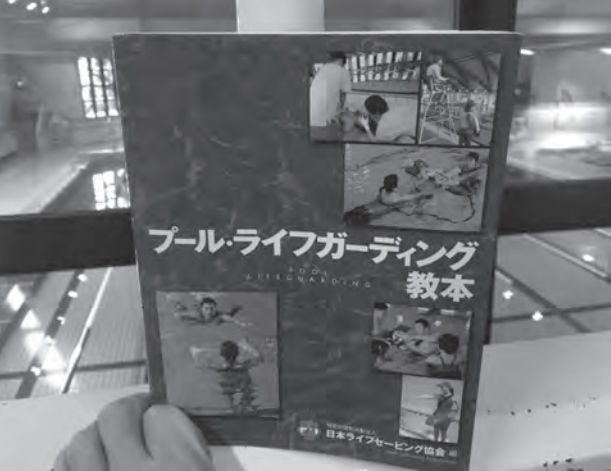
期間：10月15日（日）～21日（土）
開催地：カナダ
派遣：相澤千春（ILS 理事）
中川容子（JLA 理事 / 国際室長）
西嶋智美（国際室）
石川仁憲（JLA 理事 / 溺水防止救助救命本部長）
風間隆宏（JLA 理事 / JLA ACADEMY 本部長）
＜国際学会ポスター発表＞
「日本におけるビーチリスク評価
の手法の提案」
「日本の2つのビーチに対する
多角的なビーチリスク評価の適応事例」
＜国際学会口頭発表＞
「2011 東日本大震災以降における
JLA の自助、共助能力強化に対する貢献事例」

■ILS 専門委員会
2018年3月1日（木）～5日（月）
開催地：ベルギー
派遣：宮部周作（ILS 委員 / スポーツ本部長）

SLSA 戦略的パートナーシップ・
研修事業

SLSA/RLSA との戦略的パートナーシッ
プに基づき、溺水事故防止・JLA
ACADEMY・ライフセービングスポー
ツの各分野における海外の最新技術の
動向や知識を学ぶために人材を派遣し
国際交流を促進した。

期間：3月24日（土）～29日（木）
派遣：松本 貴行（副理事長 / ライフセービング教育本部長）
村井 亜紗子（JLA ACADEMY 本部ウォーターセーフティ科会）
鈴木 慎一（国際室）
齊藤 愛子（国際室）
主な訪問先：
・Surf Life Saving Australia
・Royal Life Saving Society Australia
・CronullaSLSA



内容
プールにおける監視・事故防止・救助・応急手当・
心肺蘇生の知識を網羅！！

プールやプール関連施設等において、事故で怪
我をしたり溺水により命を落としていたりする人が
後を絶たない。プールの管理者や監視者が適切
に行動していたら、多くの命を救えただろう。
プールにおける監視や救助の方法といったライ
フセービングにかかわる情報をオールカラーで
解説。緊急時対応計画や法的責任にも触れた充
実した内容。

目次

第1章	プール・ライフガーディングについて
1	プール・ライフガーディングとは
2	プール・ライフガードの必要性
1	水泳の頭頸部外傷
2	プール・ライフガード育成の必要性
3	日本ライフセービング協会と認定資格制度
1	日本ライフセービング協会とその活動
2	プール・ライフガーディング講習会の誕生
3	認定資格の内容及び範囲

第2章	プールに関する基礎知識
1	プールとは
1	プールおよびプール関連施設
2	「プールの安全標準指針」におけるプール
2	プールの種別
1	一般市民が利用可能なもの
2	特定用途に限定されたもの
3	プールの構造と管理
1	プールの構造
2	プール水の循環濾過
3	プールの水質
4	プールの水温設定
4	プールの水深とスタート台
1	水深とスタート台の高さに関するガイドライン
2	プールの飛び込み事故の防止対策

第3章	プール事故の原因と防止
1	プールにおける水死事故の現状
2	プール事故の分類
1	死に至る危険が伴うプールでの重大事故
2	プールで起こりうるその他の事故
3	プール事故の原因
1	プールに起因する事故
2	利用者に起因する事故
3	そのほかの起因する事故
4	プール事故の防止に向けた対応
1	事故防止のための施設管理者の任務
2	事故防止のために利用者に実施してもらうべきこと

第4章	プールの監視体制
1	監視に求められること
2	プール・ライフガードの人員配置
3	注意すべき利用者（溺者）の様子
1	溺者の特徴
2	注意すべきプール利用者（溺者）の様子
3	そのほかの注意が必要な状況
4	監視時の注意事項
5	スキヤニングの方法と種類
1	スキヤニングの原則
2	スキヤニングの方法
3	スキヤニングの質を高めるためのポイント
4	スキヤニングパターン
6	ゾーニングの方法と種類
1	ゾーニングの原則
2	ゾーニングの方法
3	カバーリング
7	パトロールの方法
1	パトロールの方法
2	プールサイドのパトロール時のポイント
3	始業前点検と終業後点検
8	ローテーションの方法
1	ローテーションの基本パターン
2	タワー（監視台）での監視の交代方法

第5章	プール・ライフガード
1	プール・ライフガードの役割
1	プール・ライフガードとは
2	プール・ライフガードと利用者との関係

3	プール・ライフガードに求められること
2	プール・ライフガードのユニフォーム
1	ユニフォームの使用
2	アイウェア（サングラス）の使用
3	フットウェア（シューズなど）の使用
4	そのほか常に携帯すべきもの
3	プール・ライフガードのコミュニケーション方法
1	コミュニケーション・ツールの利用
2	ハンドシグナルの利用
4	プール・ライフガードの感染防止対策
5	プール・ライフガードに必要な基礎的技術
1	ウォーミングアップとクーリングダウン
2	プール・ライフガードに必要な泳法と泳力

第6章	緊急時対応計画
1	プールにおける緊急時とは
1	緊急時の定義
2	プール・ライフガーディングにおける緊急時対応 計画の必要性
2	緊急時対応計画を立てるための考え方
1	救助・救護が必要な状況とは
2	救助行動・救護行動でとるべき対応
3	緊急時対応計画を行ううえでの基本的行動
1	プール・ライフガーディングにおける指示命令系統
2	緊急時対応計画の種類
3	緊急時対応計画の実行
4	状況別にみる緊急時対応計画の対応
1	利用者全員をプールから上げる場合の対応
2	プール内（水中）での緊急事態への対応
3	プールサイドなどでの緊急事態（傷病）
4	利用者からの事故（事態）の通報の場合
5	そのほかの場合
5	溺水に関しての緊急時対応計画の実際
1	溺水事故に対する対応
2	バイタルチェック
3	二次救命処置への引き継ぎ
6	緊急時対応計画への準備
1	救助器材・資材などの検討
2	救急隊の進入誘導と搬送路の確保
3	利用者を避難誘導する際の留意点
4	施設全体にかかわる緊急事態への対応
5	想定訓練

第7章	救助
1	救助の原則
1	プール・ライフガーディングにおける救助
2	救助の原則
2	救助に用いられる器材
1	救助に用いられる器材
2	一次救命処置に用いられる器材
3	救助の手順と方法
1	水に入らずに救助するする方法
2	水に入ってから接近する方法
3	溺者を確保して水中を移動する方法
4	プールからプールサイドへ移動する方法
4	救助の基本的スキル
1	救助における入水の基本
2	溺者への接近（アプローチ）の基本
3	溺者の確保の基本
5	溺者への接近と確保の方法
1	泳がずに歩いて確保する方法
2	泳いで確保する方法
3	深いプールでの救助方法
4	特殊なケースでの溺者の救助
6	溺者救助の原則（リリースとエスケープ）
1	リリースとエスケープの重要性
2	リリースとエスケープの実際
7	溺者のトローイングの方法
1	トローイング
2	トローイングの留意点
3	トローイングの種類
8	プールから溺者（傷病者を含む）を引き上げる方法
1	サポート・ポジション
2	溺者が自力で上られる場合
3	救助者1人で引き上げる方法
4	救助者2人で引き上げる方法
5	救助者3人で引き上げる方法
6	器材を使って上げる方法

第8章	頸椎損傷・頸髄損傷の疑いがある場合の救助
1	頸椎損傷・頸髄損傷とそのメカニズム
1	頸椎損傷・頸髄損傷の疑いがある場合の対応
2	頸椎損傷・頸髄損傷のメカニズム
3	頸椎損傷・頸髄損傷の症状

プール・ライフガーディング教本

著者：日本ライフセービング協会 編
出版社：大修館書店
出版年月日：2017/09/10
ISBN：9784469268270
判型ページ数：B5 変・208 ページ・オールカラー
定価：本体 2,600 円＋税

2	頸椎損傷・頸髄損傷の疑いがある場合の基本の手法
1	頸椎損傷・頸髄損傷の疑いがある場合の処置の原則
2	徒手による固定法
3	頸椎損傷・頸髄損傷の疑いがある場合の救助の流れ
1	浅いプールでの場合
2	深いプールでの場合

第9章	プール・ライフガードによる応急手当
1	応急手当とその原則
1	応急手当とは
2	応急手当の範囲
3	応急手当で守るべきこと
2	傷病者の観察
1	観察とは
2	観察の実際
3	応急手当の現場での留意点
1	感染症対策
2	感電防止
4	プールや施設およびプール関連施設で起こりうる傷病と その手当
1	転倒による傷害
2	そのほかの傷害
3	起こりやすい急病
4	注意が必要な感染症など
5	そのほか
5	傷病者についての情報のまとめ方
1	応急手当をした際に確認する内容
2	情報をまとめる意義

第10章	プール・ライフガードによる一次救命処置
1	プール・ライフガードによる一次救命処置
1	1秒でも速く一次救命処置を行う意味
2	救命の連鎖
2	呼吸・循環のしくみ
1	細胞が生きているために
2	血液の成分と役割
3	呼吸のしくみ
4	循環のしくみ
3	心肺蘇生の理論
1	心肺蘇生の重要性
2	胸骨圧迫の重要性
3	心停止の分類と心室細動
4	心室細動からの救命における AED の必要性
4	一次救命処置の実際
1	溺水における一次救命処置の原則
2	溺水、またはそれが疑われる人に対する 一次救命処置の実施手順
3	一次救命処置を行う際の留意点
5	吐物への対応
1	心肺蘇生中の吐物
2	吐物への対応
6	気道異物除去
1	気道に異物が詰まるとは
2	異物除去の方法
3	乳児の異物除去
7	アドバンス・プール・ライフガードによる一次救命処置
1	アルゴリズム
2	一次救命処置の実施手順
8	小児・乳児の一次救命処置
1	一次救命処置における小児と乳児
2	小児と乳児への一次救命処置
3	小児への一次救命処置の手順
4	乳児への一次救命処置の留意点
5	小児と乳児への一次救命処置において CPR を 中断してよい場合
6	アドバンス・プール・ライフガードによる小児・ 乳児への一次救命処置

第11章	プール事故と法的責任
1	プール・ライフガードと法的責任
1	プール事故の原因と法的責任
2	労働者としてのプール・ライフガードの立場
2	法的責任とその種類
1	刑事責任
2	民事責任
3	そのほかのペナルティー
3	事故後の適切な措置
1	事故後に求められる責任ある行動
2	チーフ・ライフガードに求められること
4	過去の事例や裁判例から学ぶこと
1	不断に訓練を行うことへの責任と期待
2	最高裁が求めた「不断に研鑽を積む義務」
3	事例や裁判例から学ぶ際のポイント

その他活動

広報・啓蒙活動

■各種ポスター、リーフレットの配布
ポスター、リーフレット等を会員クラブの要望に応じて適宜配布した。

■会報誌の発行
会報誌「THE RESCUE」2017 年度内の発行にいたらず、2018 年度に再編集して発行する。

■ホームページ等の活用
公式ホームページ、Facebook や twitter を通じて活動予定および報告等のインフォメーションを行った。

■メディア広報活動
テレビ、新聞、雑誌等を通じてライフセービングの広報を行った。

■アニュアルレポートの作成
JLA の諸活動を取りまとめた 2016 年度アニュアルレポートを作成した。

会員活動

■社員総会の開催
通常社員総会を 5 月 27 日（土）に東京都内にて開催した。

■納会
納会を 12 月 9 日（土）に東京都内にて開催した。

■組織・会員会費制度検討プロジェクトの実施

▽新法人設立に向けた制度整備
▽新法人におけるオンライン登録システムの構築

■2017 年度表彰
JLA の発展、ライフセービングの普及振興に貢献した個人または団体を表彰した。（以下敬称略）

▽教育賞
岡澤 悟一
/ プールライフガーディング分科会ディレクター
▽救命賞
中川 容子
/ 館山 SLSC/ 下田 LSC/JLA 理事、国際室/LS 専門委員
▽スポーツ賞
九十九里 LSC 安全課 / 九十九里 LSC
▽特別功労賞
上野 真宏 / スーパーパイザー
ワールドゲームズ 2017 日本代表
平野修也・西山俊
幡野圭祐・安藤秀
▽功労賞
岡澤 悟一
/ プールライフガーディング分科会ディレクター
西嶋 智美 / 国際室
アーネスト・B・ステファنز
/ オーストラリア・ワンダ SLSC

AWARD 2017



左から 入谷拓哉理事長
救命賞：中川 容子
スポーツ賞：九十九里 LSC 安全課



左から 佐藤文机子スポーツ副本部長
特別功労賞：ワールドゲームズ 2017 日本代表 / 平野修也、安藤 秀
入谷拓哉理事長

その他活動

他団体との連携・協力

■海上保安庁との連携・協力
▽協力協定の推進
▽海の安全推進アドバイザー派遣
石川仁憲（理事 / 溺水防止救助救命本部長）

■消費者庁安全調査委員会
内閣府より副理事長・松本貴行（ライフセービング教育本部長）が消費者庁安全調査委員会専門委員の任命（平成 29 年 7 月 12 日付 任命権者 / 内閣総理大臣安倍晋三）を受け、教育・保育施設でのプール活動や水遊びにおける事故防止の意識を高めることを目的とした「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びに関する実態調査」（平成 30 年 4 月 24 日付発表）を取りまとめた。主に、教育・保育の現場で指導や監視にあたる職員等を対象とした安全研修の提案や幼稚園等における自発的な取り組みにつながる情報を提供した。

■東京 2020 応援プログラム認証
JLA 指導員が指導する BLS 資格認定講習会及び BLS ライフセービングサポーター講習会が「いのちを繋ぐプログラム」として東京オリンピック・パラリンピックの応援プログラムの認定を受けた。

■港区「東京 2020 応援プログラム」推進事業
東京都港区より「東京 2020 応援プログラム推進事業」の助成金を受け BLS 資格認定講習会及び BLS ライフセービングサポーター講習会を実施した。
▽2/23（金）虎ノ門いきいきプラザ 2 名
▽3/09（金）神明いきいきプラザ 3 名
▽3/16（金）神明いきいきプラザ 2 名
▽3/17（土）神明いきいきプラザ 2 名
▽3/24（土）三田いきいきプラザ 2 名
▽3/30（金）三田いきいきプラザ 2 名

■シャルレーヌ・モナコ公妃財団との連携
Water Safety プログラムに対し 2017 年～2019 年の 2 年間助成を受ける契約を締結した。助成金は主に指導員養成事業や各資格講習会の開催経費に充当した。

■日本トライアスロン連合との連携・協力
国民体育大会等、各地域でのトライアスロン競技スイム部門への安全管理体制の構築に協力した。

■ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B & G 財団）との連携・協力
▽B&G 財団 / 職員研修協力
B&G 財団が開催する職員研修に JLA 指導員を派遣し BLS 研修会を実施した。
5 月 15 日（月）
会場 / B&G 財団内会議室（東京都）
▽B&G 財団 / 指導者養成事業・研修協力（協力：JLA 沖縄県支部）
B&G 財団が開催する指導者養成研修に JLA 指導員を派遣し BLS およびウォーターセーフティ資格認定講習会を実施した。
6 月 10 日（土）～ 11 日（日）
会場 / マリンピアザオキナワ（沖縄県）

■公益財団法人日本水泳連盟との連携・協力
▽オープンウォータースイミング委員会委員および安全担当員（セイフティ・アドバイザー）派遣協力
OWS 競技会の全国的な展開に対し安全対策やガイドライン策定等への協力について日本水泳連盟 OWS 委員ならびに安全担当員として派遣した。
・安全担当員
石井英一、安田春暁、河波弘晃（JLA イベント安全管理委員会）

▽国民体育大会オープンウォータースイミング安全管理協力
▽オープンウォータースイミング・ジャパンオープン安全管理協力

■日本水難救済会との連携・協力
各地の日本水難救済会主催の「海の安全教室」へ協力した。

■一般社団法人日本マスターズ水泳協会との連携・協力
▽日本マスターズ水泳協会との安全対策における連携の促進および安全委員会へ委員を派遣した。
派遣：石井英一（イベント安全管理委員会委員長）
田村浩志（ウォーターセーフティ分科会）
▽マスターズ水泳普及講習会に指導員を派遣した。
・2月 18 日（日）日本ガイシフォーラム（愛知県）
・3月 3 月 11 日（日）RACTAB ドーム（大阪府）
・3月 18 日（日）オリンピックセンター（東京都）

■救急救命士の社会的利活用検討協議会への協力
一般社団法人病院前救護統括体制認定機構の設立に際し役員を派遣した。
派遣：入谷拓哉（JLA 理事長）

■青少年育成 3 団体協働事業
ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B & G 財団）、日本トライアスロン連合（J T U）、日本ライフセービング協会の 3 団体協働によるプロジェクトに参画し「青少年の健全育成、自然体験を通じた安全教育」を推進した。

▽東北 8 月 6 日（日）秋田 LSC 協力
会場 / 秋田県 にかほ市象潟
▽関東 7 月 8 日（土）
会場 / 栃木県 下野市国分寺
▽近畿 4 ～ 6 月
会場 / 滋賀県 高島市今津
▽中国 7 月 29 日（土）
会場 / 鳥取県 伯耆町岸本
▽四国 7 月 15 日（土）
会場 / 愛媛県 松山市中島
▽北九州 7 月 8 日（土）新宮 LSC 協力
会場 / 佐賀県 江北町

■株式会社ポピンズ
「キッズライフセービング（乳幼児）」共同開発事業
水辺エリアでの活動を超えた年間プログラムとして乳幼児に対する発達支援事業「キッズライフセービング」に指導員を派遣した。

■ヤマハ発動機スポーツ振興財団
ヤマハ発動機スポーツ振興財団が開催する水辺体験教育事業「水の安全講習会」（対象：小 3 ～ 中 3）に JLA 指導員を派遣しライフセービングの指導を行った。
7 月 17 日（月）15 名参加
会場 / 葉山マリーナ（神奈川県葉山市）

■国士舘大学水難救助実習
国士舘大学が開催する水難救助実習に JLA 指導員を派遣し、160 名の生徒へライフセービングの指導を行った。
7 月 8 日（土）～ 11 日（火）
会場 / 岩井海岸（千葉県南房総市）

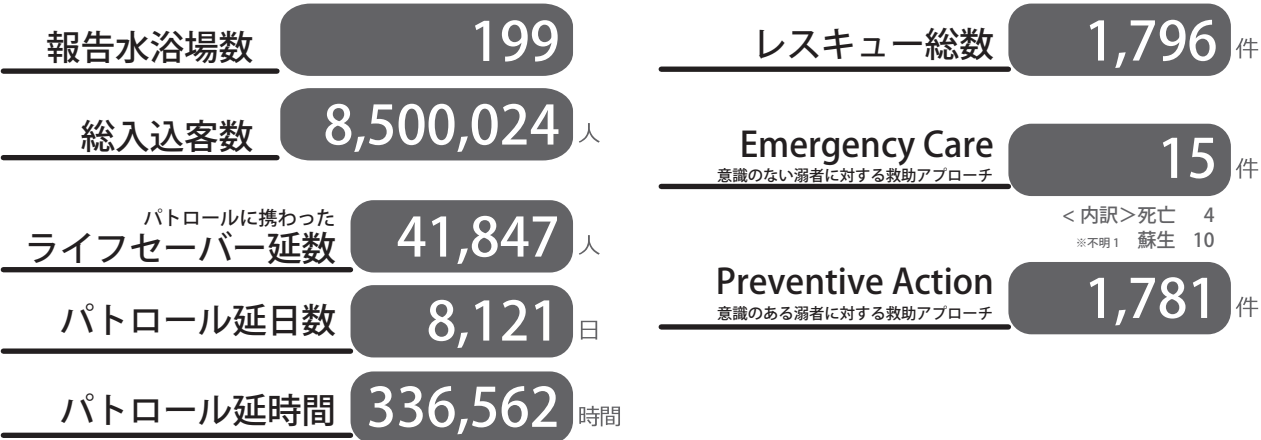
■明治国際医療大学（京都府）との連携・協力
新規学科（救急救命士養成）のカリキュラムへの JLA 資格取得プログラム導入へ指導員を派遣した。

■日本ビーチ文化振興協会との連携・協力
ビーチスポーツフェスティバルでビーチフラッグス種目を実施した。
5 月 5 日（金祝）
会場 / お台場海浜公園（東京都）

パトロールログ集計

Patrol&Rescue Report 2017

JLA へ登録いただいている全国の監視活動エリアから提出された報告書（199 カ所）より、集計可能なデータを対象にまとめました。



Preventive Action 自然要因

離岸流に流される	沿岸流に流される	波に巻かれる	風に流される	陥没・急深にはまる	その他
555 件 27.7%	173 件 8.6%	157 件 7.8%	786 件 39.2%	170 件 8.5%	164 件 8.2%

Preventive Action 個人要因

けいれん	パニック	泳力不足	疲労	飲酒	その他
9 件 0.7%	151 件 11.1%	740 件 54.4%	294 件 21.6%	95 件 7%	72 件 5.3%

Preventive Action 行爲

海水浴・浮具あり	海水浴・浮具なし	サーフィン	ボディーボード	スキンドайビング	その他
992 件 56.3%	673 件 38.2%	26 件 1.5%	52 件 2.9%	0 件 0.0%	20 件 1.1%

ファーストエイド総数

21,672件

ショック	5	脱臼	31	脳卒中	0
意識障害	6	やけど	17	発熱	4
擦過傷	1,848	熱中症	104	低体温症	3
切創	2,988	瘻れん	4	クラゲ	14,069
裂創	99	鼻出血	108	エイ	81
刺創	300	眼に異物	27	じんましん	26
挫創	60	歯の損傷	2	とげ	1,050
打撲	70	過呼吸	4	虫刺	218
捻挫	23	吐気・嘔吐	25	爪はがれ	99
骨折	10	頸髄・頸椎損傷	7	泥酔	40
肉離れ	3	心臓発作	0	その他	341

迷子総数

979件

パトロールログ集計

Patrol&Rescue Report 2017

2017 年は総入込客数 8,500,024 人（199 海水浴場）に対し、レスキュー総数は 1,796 件と前年（2,249 件）に比べて少なく、近年は減少傾向にある。このうち意識のある溺者を救助した Preventive Action は 1,781 件、意識のない溺者（心肺停止を含む）を救助した Emergency Care は 15 件であった。Emergency Care は前面の 37 件に比べて半分以下である。ライフセーバーによる目撃ありの CPR では、溺者の社会復帰率は 59.1%と高い報告 * があるが、ライフセービングの第一の目的は水辺の事故防止であることから、Emergency Care、Preventive Action とともに減らしていかなければならない。

わが国の海辺の溺水の多くは、主に離岸流（Rip Current）が原因で起きていたが、2017 年の溺水の自然要因は、風が 39.2 % と多く、次いで離岸流が 27.7 % であった。JLA では夏季シーズンの Water Safety Campaign 等を通じて、離岸流の知識の普及等、溺水防止の啓蒙を行っているが、今後は風が強い条件下でのフロート利用などについても取り上げていくことにする。なお、離岸流による事故を防止するためには、離岸流を避けて遊泳することが最善策であるが、この場合であっても、沿岸流によって離岸流発生箇所流に流されることが多い。したがって、海へのエントリーポイントを意識して遊泳するなど、事故防止のためのより分かりやすい情報提供が事故防止に繋がると考える（Fig. 1）。一方、遊泳者自身の溺水要因では、未だ飲酒が 95 件と多い。JLA では、サッポロホールディングス株式会社、海上保安庁とともに「飲んだら泳がない」キャンペーンを実施しているが、今後もこの取り組みを全国的に展開していく予定である。

2017 年のファーストエイドは 21,672 件（前年 20,120 件）であり、クラゲの 14,069 件に次いで切創 2,988 件、擦過傷 1,848 件が多く、この傾向は 2010 年以降変わらない。近年はエイによる被害が多く、2017 年も 81 件であり、ライフセーバーには刺胞毒等に対する知識と適切な処置が求められる。また、2017 年の救急車要請は 110 件であった。心肺停止傷病者の社会復帰率の向上のためにはライフセーバーと救急隊との強い連携が重要であり、「傷病者記録票」を活用するなどして、各地域の公的救助機関との連携を強化して頂きたい。

*T. Komine, H. Tanaka, H. Takyu, T. Kinoshi, S. Gotoh,E. Sone, R. Sagisaka, T. Ishikawa, S. Shimazaki; Effectiveness of surf lifesaver on OHCA occurred by drowning on the beaches in Japan. 8th Asian Conference for Emergency Medicine, 2015.

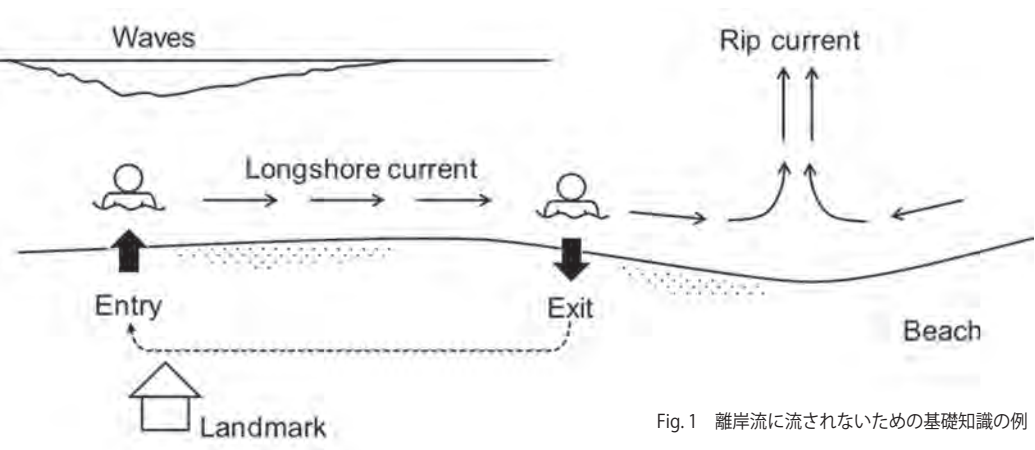


Fig. 1 離岸流に流されないための基礎知識の例

2017 年度
溺水防止救助救命本部長 石川 仁憲

レスキューレポート

Patrol&Rescue Report 2017

JLA へ登録いただいている全国の監視活動エリア（199 ヶ所）から提出された Rescue Report, ResuscitationReport より、事例検証しました。

■CPR 事例検証

	月	年齢	性別	発見時の状況	監視時間	遊泳エリア	目撃	発生または 覚知から接触	接触時	発生または 覚知から CPR 開始	AED 使用	ショック	自己心拍 再開	社会復帰
1.	7	31	M	クラゲ浮きのところを発見	内	内	なし	3 分	心肺停止	3 分	あり	なし	あり	不明
2.	7	40 代	M	サーフィン波待ち中に意識消失	内	外	あり	10 分	心肺停止	15 分	あり	あり	なし	不明
3.	7	78	M	遊泳中に溺水	内	内	あり	1 分以内	心肺停止	1 分以内	あり	なし	なし	不明
4.	7	66	M	遊泳中に溺水	内	外	なし	3 分	心肺停止	4 分	あり	なし	なし	なし
5.	6	41	M	遊泳中に溺水	内	外	なし	1 分以内	心肺停止	2 分	あり	なし	あり	あり
6.	9	31	F	フロートを放して溺水	内	外	あり	3 分	心肺停止	5 分	あり	あり	あり	あり

■Preventive Action 事例検証

	月	年齢	性別	状況	救助方法	意識	溺水	救急搬送	監視時間	遊泳エリア	発生または 覚知から接触	飲酒
1.	8	70	M	岩場で足を滑らせ溺水	フィン有レスキューチューブ／レスキューボード	あり	あり	あり	内	外	2 分	あり
2.	7	17	M	竹製の筏に足がはさまった 外傷なし	レスキューボード	あり	なし	なし（要請後不搬送）	内	内	1 分以内	なし
3.	7	17	M	浮き台から前転宙返りして浮き台に頭部打撲	レスキューボード	あり	なし	あり	内	内	1 分以内	なし
4.	7	21	M	沖に流され戻れなくなった	レスキューボード	あり	あり	あり	内	内	15 分	なし
5.	7	21	M	沖に流され戻れなくなった	フィン無レスキューチューブ／レスキューボード	あり	あり	あり	内	内	5 分	なし
6.	7	不明	M	沖に流され戻れなくなった	フィン無レスキューチューブ／レスキューボード	あり	あり	あり	内	内	20 分	なし
7.	7	13	M	カツオノエボシに刺された	なし	あり	なし	なし（要請後不搬送）	内	外	2 分	なし
8.	8	不明	F	強風でフロートから落ちて溺水	レスキュー SUP／チューブ	あり	あり	あり	内	内	1 分以内	なし
9.	8	不明	M	強風でフロートから落ちて溺水	レスキュー SUP／チューブ	あり	あり	あり	内	内	1 分以内	なし
10.	8	40	M	ボードが当たり眼瞼から出血	なし	あり	なし	あり	内	外	1 分以内	なし
11.	8	16	M	フロートから手を放してしまい溺水	レスキューボード	あり	あり	あり	内	内	1 分以内	なし
12.	8	43	M	水上バイクで栈橋に衝突	バックボード／水上バイク	あり	なし	あり	内	外	3 分	なし
13.	8	70	M	飲酒後に岩場から落ちて溺水	レスキューチューブ／レスキューボード	あり	あり	あり	内	外	2 分	なし
14.	8	3	F	カツオノエボシ 家族の希望で救急要請	なし	あり	なし	あり	内	内	1 分以内	なし
15.	8	19	F	水上バイク後部乗艇後に全身脱力	なし	あり	なし	あり	内	外	8 分	なし
16.	8	21	M	バナナボート転覆時に負傷	なし	あり	なし	あり	内	外	10 分	なし
17.	7	21	M	高波にさらわれて溺水	フィン無レスキューチューブ／レスキューボード	あり	あり	あり	内	内	5 分	なし
18.	7	42	M	ボディボード中の外傷	なし	あり	なし	あり	内	内	1 分以内	なし

レスキューレポート

Patrol&Rescue Report 2017

2017 年の CPR 件数は 6 件と例年より少なかった。これが報告漏れによるものか、ライフセーバーの活動により未然に CPA が防止されているのかはまだわからないが、経過を見守りたい。

この統計のなかで注目したいのは、AED 装着は全例に行われており、そのうち 2 例でショックが必要であったことである。溺水がショック適応である VF の原因になることもあるが、内因性の疾患が発生してその結果 VF による心停止となった可能性もある。大事なことは海の中の CPA＝溺水、だけではなく、心筋梗塞などの内因性の疾患がたまたま海水浴場で発生した、という場合もあり得ることである。単純な溺水の原因の背景に隠れている別の病態があるかもしれないと注意することが重要である。

現場での心拍再開は 3 例、その後の予後について 3 例で判明していないが、残り 3 例のうち 2 例で社会復帰をしている。蘇生率、社会復帰率については例年どおりの結果であったように考える。

最後に、2018 年度は協会 Medical Director（MD）を 6 名に増員した。今後それぞれの地域で事例検討会を行う際には是非 MD を呼んでいただき、フランクな意見交換やアドバイス、医学的な疑問に答えられればと考えている。

2017 年度
救急蘇生委員会 委員長・メディカルダイレクター／中川 儀英

第 30 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

2017 年 5 月 20 日（土）～21 日（日） 横浜国際プール（神奈川県横浜市） 47 チーム 541 名参加

☆チーム総合成績		
順位	チーム名	得点
1	西浜サーフライフセービングクラブ	118
2	湯河原ライフセービングクラブ	102
3	銚子ライフセービングクラブ	88
4	日本大学サーフライフセービングクラブ	68
5	日本体育大学ライフセービングクラブ	59
6	日本女子体育大学ライフセービングクラブ	41
7	勝浦ライフセービングクラブ	38
8	茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ	20

◆200m 障害物スイム 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	成澤 侑花	日本大学 SLSC	2:17.09
2	黒岩 美緒	日本女子体育大学 LSC	2:18.52
3	村上 菜穂	日本大学 SLSC	2:20.70
4	櫻井 美乃	日本大学 SLSC	2:21.90
5	山田 エリカ	明治大学 SLSC	2:22.85
6	田村 実絵	日本女子体育大学 LSC	2:25.75
7	稲畑 桃子	日本体育大学附属高等学校 LSC	2:28.40
8	坂上 智美	若狭和田 LSC	2:29.19

◆100m マネキンキャリー・ウィズフィン 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	我妻 菜登	勝浦 LSC	57.81 大会新
2	山本 祐紀子	若狭和田 LSC	58.01 大会新
3	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC	1:01.34
4	北原 由実子	日本体育大学 LSC	1:04.82
5	長江 亜実	新島 LSC	1:05.30
6	津島 笑満花	館山 SLSC	1:05.69
7	小林 夏実	銚子 LC	1:07.21
8	土井 夢子	日本女子体育大学 LSC	1:11.28

◆200m 障害物スイム 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	池端 拓海	日本大学 SLSC	2:00.54 大会新
2	平野 修也	辻堂 LC	2:01.61 大会新
3	新川 将吾	西浜 SLSC	2:07.14
4	堀内 敦貴	銚子 LC	2:08.53
5	佐藤 悠太	中央大学 LSC	2:11.23
6	柴芝 凌大	拓殖大学 LSC	2:13.03
7	畑中 優太	日本体育大学附属高等学校 LSC	2:13.33
8	小山 尚紀	日本体育大学 LSC	2:13.58

◆100m マネキンキャリー・ウィズフィン 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	西山 俊	湯河原 LSC	48.27 日本新
2	園田 俊	西浜 SLSC	49.07 大会新
3	幡野 圭祐	白浜 LSC	49.55
4	高橋 徹	和田浦 LSC	51.40
5	佐々木 渉	成蹊大学 LSC	52.08
6	篠田 智哉	勝浦 LSC	52.41
7	黒江 良之	新島 LSC	54.85
8	有原 和俊	日本体育大学 LSC	55.33

◆50m マネキンキャリー 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	山本 祐紀子	若狭和田 LSC	37.43 大会新
2	栗真 千里	銚子 LC	38.51
3	青木 邦	湯河原 LSC	39.60
4	坂本 佳風子	西浜 SLSC	40.05
5	中島 静香	湯河原 LSC	41.02
6	河崎 綾子	湯河原 LSC	41.95
7	熊木 なつみ	帝京大学 LSC	41.97
8	長江 亜実	新島 LSC	42.30

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	我妻 菜登	勝浦 LSC	1:03.97
2	坂本 佳風子	西浜 SLSC	1:06.84
3	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC	1:06.91
4	山口 茜	日本女子体育大学 LSC	1:09.44
5	石毛 杏奈	帝京大学 LSC	1:09.97
6	北原 由実子	日本体育大学 LSC	1:10.12
7	高橋 志穂	柏崎 LSC	1:11.20
8	中田 碧	日本体育大学 LSC	1:12.21

◆50m マネキンキャリー 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	平野 修也	辻堂 LSC	31.21
2	幡野 圭祐	白浜 LSC	31.54
3	大島 圭介	湯河原 LSC	31.55
4	廣田 諒	西浜 SLSC	33.08
5	坂本 陸	西浜 SLSC	33.22
6	雨宮 利明	成城学園 LSC	33.43
7	細川 大介	銚子 LC	33.46
8	寒河江 健太	KITAJIMAQUATICS	33.78

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 凌	西浜 SLSC	55.54
2	篠田 智哉	勝浦 LSC	56.60
3	湯浅 泰旺	鹿嶋 LG	57.80
4	楠本 瑞希	大阪体育大学 LSC	58.94
5	高橋 徹	和田浦 LSC	1:00.46
6	玉井 颯	日本体育大学 LSC	1:00.82
7	桑川 拓海	法政大学 SLSC	1:01.05
8	永石 哲朗	勝浦 LSC	1:01.29

◆100m レスキューメドレー 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	三井 結里花	九十九里 LSC	1:15.73 大会新
2	青木 邦	湯河原 LSC	1:21.72
3	上野 真凜	西浜 SLSC	1:24.53
4	阿形 芽生	日本体育大学 LSC	1:25.60
5	田村 実絵	日本女子体育大学 LSC	1:27.06
6	前川 紗楓	日本女子体育大学 LSC	1:27.13
7	櫻井 美乃	日本大学 SLSC	1:28.00
8	田中 優果	日本体育大学 LSC	1:29.71

◆200m スーパーライフセーバー 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	三井 結里花	九十九里 LSC	2:31.69 日本新
2	成澤 侑花	日本大学 SLSC	2:39.30
3	栗真 千里	銚子 LSC	2:41.46
4	上野 真凜	西浜 SLSC	2:45.23
5	宮田 沙依	銚子 LC	2:46.83
6	山口 茜	日本女子体育大学 LSC	2:48.42
7	高橋 志穂	柏崎 LSC	2:49.89
8	船津 まどか	東海大学湘南校舎 LSC	2:51.73

◆100m レスキューメドレー 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	安藤 秀	湯河原 LSC	1:05.35
2	堀内 敦貴	銚子 LSC	1:09.04
3	大島 圭介	湯河原 LSC	1:09.49
4	菅沼 寛也	下田 LSC	1:10.12
5	細川 大介	銚子 LSC	1:10.70
6	川崎 駿介	日本体育大学 LSC	1:10.92
7	田中 圭梧	神奈川大学 LSC	1:11.76
8	雨宮 利明	成城学園 LSC	1:12.00

◆200m スーパーライフセーバー 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 凌	西浜 SLSC	2:14.90 日本新
2	安藤 秀	湯河原 LSC	2:16.10 日本新
3	池端 拓海	日本大学 SLSC	2:20.55
4	廣田 諒	西浜 SLSC	2:23.00
5	小松 海登	法政大学 SLSC	2:23.20
6	菅沼 寛也	下田 LSC	2:25.37
7	坂本 陸	西浜 SLSC	2:25.40
8	湯浅 泰旺	鹿嶋 LG	2:26.57

第 30 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

◆4×50m 障害物リレー 女子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大学 SLSC	櫻井美乃、松竹凜子、村上菜穂、成澤侑花	1:59.58 大会新
2	日本女子体育大学 LSC	黒岩美緒、前川紗楓、田村実絵、山口茜	2:01.55
3	銚子 LSC	堤茅咲、宮田沙依、小林夏実、栗真千里	2:02.14
4	湯河原 LSC	青木邦、室伏郁花、河崎綾子、中島静香	2:03.24
5	西浜 SLSC	坂本佳風子、内堀夏怜、上野真凜、小林愛菜	2:03.83
6	日本体育大学 LSC	具志堅夕、田中優果、北原由実子、阿形芽生	2:04.32
7	日体大荏原高等学校 LSC	稲畑桃子、仙波美幸、山路侑茄、加賀谷美羽	2:09.93
8	東京女子体育大学 LSC	竹内ティアレ、井高絵蓮、佐々木恵、樋口葉乃	2:11.15

◆4×50m 障害物リレー 男子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	湯河原 LSC	大島圭介、西山俊、三木翔平、安藤秀	1:43.56
2	西浜 SLSC	新川将吾、上野凌、園田俊、廣田諒	1:44.19
3	銚子 LSC	石田健人、井上虎太郎、堀内敦貴、田村憲章	1:44.51
4	日本大学 SLSC	光野智大、池端拓海、岡野文哉、小野孝慶	1:45.35
5	日本体育大学 LSC	小山尚紀、有原和俊、岩井浩大、川崎駿介	1:49.06
6	勝浦 LSC	永石哲朗、亀ノ上僚仁、熊木渉、篠田智哉	1:49.39
7	大阪体育大学 LSC	久保愛斗、楠本瑞希、児玉拓二、田中太規	1:49.53
8	法政大学 SLSC	桑川拓海、小松海登、北村俊樹、柳原拓実	1:51.42

◆4×25m マネキンリレー 女子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	西浜 SLSC	小林愛菜、坂本佳風子、上野真凜、内堀夏怜	1:33.41
2	湯河原 LSC	青木邦、室伏郁花、河崎綾子、中島静香	1:33.55
3	銚子 LSC	佐野七美、堤茅咲、栗真千里、宮田沙依	1:34.73
4	日本体育大学 LSC	田中優果、阿形芽生、桜井萌子、具志堅夕	1:36.26
5	日本女子体育大学 LSC	前川紗楓、土井夢子、山口茜、黒岩美緒	1:37.34
6	日本大学 SLSC	成澤侑花、櫻井美乃、川村真穂、松竹凜子	1:39.96
7	東京女子体育大学 LSC	平本依吹、新納みちる、佐々木恵、渡美紀	1:53.22
8			

◆4×25m マネキンリレー 男子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	西浜 SLSC	坂本陸、園田俊、上野凌、廣田諒	1:13.72
2	湯河原 LSC	大島圭介、三木翔平、西山俊、安藤秀	1:14.40
3	銚子 LSC	堀内敦貴、野本昂太、細川大介、田村憲章	1:15.33
4	日本大学 SLSC	池端拓海、光野智大、ワタナベチアゴ光、福田透	1:17.39
5	日本体育大学 LSC	小山尚紀、川崎駿介、岩井浩大、有賀海斗	1:18.03
6	流通経済大学 LSC	遠藤勝久、小山広将、亀谷重恵、楠大志	1:20.71
7	勝浦 LSC	篠田智哉、亀ノ上僚仁、永石哲朗、熊木渉	1:20.80
8	大阪体育大学 LSC	田中太規、児玉拓二、楠本瑞希、久保愛斗	1:21.00

◆SERC 男女		
順位	チーム名	達成度（％）
1	東京消防庁ライフセービングクラブ	68.8
2	銚子ライフセービングクラブ	58.0
3	勝浦ライフセービングクラブ	57.7
4	流通経済大学ライフセービングクラブ	54.7
5	西浜サーフライフセービングクラブ	54.1
6	鹿嶋ライフガードチーム	50.5
7	成城学園ライフセービングクラブ	44.7
8	柏崎ライフセービングクラブ	44.4

◆4×50m メドレーリレー 女子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	銚子 LSC	宮田沙依、小林 夏実、栗真千里、堤茅咲	1:51.77
2	日本体育大学 LSC	田中優果、北原由実子、阿形芽生、中田碧	1:52.63
3	西浜 SLSC	内堀夏怜、小林愛菜、上野真凜、坂本佳風子	1:53.05
4	日本大学 SLSC	成澤侑花、木村萌恵、櫻井美乃、松竹凜子	1:53.34
5	日本女子体育大学 LSC	黒岩美緒、土井夢子、山口茜、田村実絵	1:54.08
6	日体大荏原高等学校 LSC	稲畑桃子、仙波美幸、山路侑茄、加賀谷美羽	1:56.76
7	東京女子体育大学 LSC	竹内ティアレ、井高絵蓮、佐々木恵、樋口葉乃	1:59.46
8	東海大湘南校舎 LSC	川崎望生、照沼可琳、一原枝厘花、船津まどか	2:01.09

◆4×50m メドレーリレー 男子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	湯河原 LSC	大島圭介、西山俊、安藤秀、湊井俊光	1:34.10
2	西浜 SLSC	新川将吾、園田俊、廣田諒、上野凌	1:34.17
3	銚子 LSC	石田健人、井上虎太郎、堀内敦貴、田村憲章	1:39.62
4	日本体育大学 LSC	岩井浩大、有原和俊、川崎駿介、渡邊昂俊	1:39.65
5	大阪体育大学 LSC	久保愛斗、楠本瑞希、児玉拓二、田中太規	1:40.83
6	流通経済大学 LSC	千代大斗、亀谷重恵、遠藤勝久、小山広将	1:42.10
7	法政大学 SLSC	北村俊樹、佐々木萌佑、桑川拓海、小松海登	1:42.18
8	成城学園 LSC	石井翔梧、川島李空、大野芳貴、信岡海	1:44.50

◆ラインスロー 女子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	茅ヶ崎 LSC	猪又美佳、名須川紗綾	14.51
2	帝京大学 LSC	熊木なつみ、富田有佐	17.42
3	流通経済大学 LSC	今井夏希、大内みのり	18.18
4	西浜 SLSC	上野真凜、坂本佳風子	18.71
5	湯河原 LSC	河崎綾子、室伏郁花	19.52
6	日体大荏原高等学校 LSC	横山愛美、西川瑞代	20.42
7	早稲田大学 LSC	丸山みどり、四倉繪子	21.62
8	大阪体育大学 LSC	井田成美、岡崎美月	23.22

◆ラインスロー 男子			
順位	チーム名	競技者名	記録
1	湯河原 LSC	三木翔平、西山俊	11.38
2	日本体育大学 LSC	川崎駿介、岩本耕平	11.38
3	銚子 LSC	竹田陸央、森新太郎	13.18
4	東京消防庁 LSC	寺尾匡人、本多辰也	14.50
5	新島 LSC	中島章、黒江良之	15.36
6	大阪体育大学 LSC	楠本瑞希、梅田玲央	15.40
7	東海大清水校舎 LSC	井上悠、鈴木佑弥	16.73
8	西浜 SLSC	上野凌、園田俊	23.85

第 30 回全日本ライフセービング種目別選手権大会

2017 年 6 月 3 日（土）～6 月 4 日（日） 本須賀海岸（千葉県） 56 チーム 546 名参加

◆サーフレース 女子

順位	競技者名	チーム名
1	三井 結里花	九十九里 LSC
2	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
3	栗真 千里	銚子 LC
4	成澤 侑花	日本大学 SLSC
5	山口 茜	日本女子体育大学 LSC
6	上野 真凜	西浜 SLSC
7	田村 実絵	日本女子体育大学 LSC
8	黒岩 美緒	日本女子体育大学 LSC

◆サーフスキーレース 女子

順位	競技者名	チーム名
1	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
2	久保 美沙代	和田浦 LSC
3	古川 萌子	大竹 SLSC
4	青木 邦	湯河原 LSC
5	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC
6	高橋 志穂	柏崎 LSC
7	三井 結里花	九十九里 LSC
8	宮田 沙依	銚子 LC

◆ビーチフラッグス 女子

順位	競技者名	チーム名
1	川崎 汐美	東京消防庁 LSC
2	石塚 円香	鴨川 LSC
3	田中 綾	昭和第一学園高等学校 LSC
4	但野 安菜	勝浦 LSC
5	平本 依吹	東京女子体育大学 LSC
6	前川 紗楓	日本女子体育大学 LSC
7	高山 あさな	白浜 LSC
8	若林 明穂	順天堂大学 LSC

◆サーフレース 男子

順位	競技者名	チーム名
1	上野 凌	西浜 SLSC
2	池端 拓海	日本大学 SLSC
3	伊藤 俊輔	館山 SLSC
4	小松 海登	法政大学 SLSC
5	堀内 敦貴	銚子 LC
6	西山 俊	湯河原 LSC
7	菅沼 寛也	下田 LSC
8	衆川 拓海	法政大学 SLSC

◆サーフスキーレース 男子

順位	競技者名	チーム名
1	西山 俊	湯河原 LSC
2	堀部 雄大	館山 SLSC
3	落合 慶二	東京消防庁 LSC
4	長竹 康介	西浜 SLSC
5	河西 亮佑	西浜 SLSC
6	出水谷 啓太	九十九里 LSC
7	篠田 智哉	勝浦 LSC
8	牛越 智	波崎 SLSC

◆ビーチフラッグス 男子

順位	競技者名	チーム名
1	和田 賢一	式根島 LSC
2	森 新太郎	銚子 LC
3	野口 勝成	式根島 LSC
4	竹澤 康輝	勝浦 LSC
5	植木 将人	西浜 SLSC
6	本多 辰也	東京消防庁 LSC
7	西崎 賢	順天堂大学 LSC
8	石田 蒼一郎	西伊豆・松崎 LSC

◆オーシャンウーマン

順位	競技者名	チーム名
1	三井 結里花	九十九里 LSC
2	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
3	青木 邦	湯河原 LSC
4	高橋 志穂	柏崎 LSC
5	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC
6	宮田 沙依	銚子 LC
7	古川 萌子	大竹 SLSC
8	久保 美沙代	和田浦 LSC

◆ボードレース 女子

順位	競技者名	チーム名
1	三井 結里花	九十九里 LSC
2	白鳥 紗貴	青山学院大学 LSC
3	我妻 菜登	勝浦 LSC
4	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC
5	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
6	一原 枝厘花	東海大学湘南校舎 LSC
7	山口 茜	日本女子体育大学 LSC
8	片平修理	メリッサ 西浜 SLSC

◆2km ビーチラン 女子

順位	競技者名	チーム名
1	國井 菜名	東海大学清水校舎 LSC
2	大内 みのり	流通経済大学 LSC
3	金子 真優	銚子 LC
4	太田黒 歩美	熱川 LSC
5	片平修理	メリッサ 西浜 SLSC
6	富田 有佐	帝京大学 LSC
7	長江 亜実	新島 LSC
8	根本 美奈	日本女子体育大学 LSC

◆オーシャンマン

順位	競技者名	チーム名
1	西山 俊	湯河原 LSC
2	菅沼 寛也	下田 LSC
3	園田 俊	西浜 SLSC
4	上野 凌	西浜 SLSC
5	廣田 諒	神奈川大学 LSC
6	堀部 雄大	館山 SLSC
7	長竹 康介	西浜 SLSC
8	小松 海登	法政大学 SLSC

◆ボードレース 男子

順位	競技者名	チーム名
1	上野 凌	西浜 SLSC
2	西山 俊	湯河原 LSC
3	園田 俊	西浜 SLSC
4	牛越 智	波崎 SLSC
5	荒井 洋佑	西浜 SLSC
6	衆川 拓海	法政大学 SLSC
7	徳応 涼輔	和田浦 LSC
8	池端 拓海	日本大学 SLSC

◆2km ビーチラン 男子

順位	競技者名	チーム名
1	笹田 直太	式根島 LSC
2	渡邊 昂俊	神津島 LSC
3	橋本 湧太	帝京大学 LSC
4	山中 裕二	拓殖大学 LSC
5	高橋 佑介	杏林大学 LSC
6	田原 大地	白浜 LSC
7	橋本 憲治	式根島 LSC
8	中川 慎太郎	西浜 SLSC

◆ビーチスプリント 女子

順位	競技者名	チーム名
1	田中 綾	昭和第一学園高等学校 LSC
2	長野 文音	和田浦 LSC
3	石塚 円香	鴨川 LSC
4	我妻 菜登	勝浦 LSC
5	井口 彩紀	東京女子体育大学 LSC
6	真部 夏	東京女子体育大学 LSC
7	竹内 歩	鴨川 LSC
8	川崎 汐美	東京消防庁 LSC

◆ビーチスプリント 男子

順位	競技者名	チーム名
1	森 新太郎	銚子 LC
2	和田 賢一	式根島 LSC
3	石井 雄大	東京消防庁 LSC
4	高梨 友美生	成城学園 LSC
5	玉井 颯	鴨川 LSC
6	小田切 伸矢	西浜 SLSC
7	藤田 大樹	国士舘大学 LSC
8	橋谷 俊平	大阪体育大学 LSC

第 9 回全日本ユースライフセービング競技会

2017 年 6 月 10 日（土）～11 日（日） 岩井海岸（千葉県） 18 チーム 242 名参加

☆チーム総合

順位	チーム名	得点
1	西浜 SLSC	143
2	成城学園 LSC	92
3	館山 SLSC	77
4	日体大荏原高校 LSC	40
5	昭和第一学園高等学校 LSC	38
6	パディ冒険団	35
7	下田 LSC	34
8	湯河原 LSC	23

◆サーフレース 中学生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	西大熊 美咲	西浜 SLSC
2	新井 里英	成城学園 LSC
3	久木 翠	山形 LSC
4	谷中 七桜子	十文字高校 LSC
5	正木 友海	館山 SLSC
6	安田 愛	成城学園 LSC
7	八代 里帆	十文字高校 LSC
8	田中 伶奈	KITAJIMAQUATICS

◆1km ビーチラン 中学生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	川下 葵	館山 SLSC
2	天川 文乃	西浜 SLSC
3	堺澤 舞香	館山 SLSC
4	川下 遥	館山 SLSC
5	三橋 夏菜	KITAJIMAQUATICS
6	高橋 奈子	下田 LSC
7	渡辺 幸	西浜 SLSC
8	橋本 未波	館山 SLSC

◆サーフレース 中学生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	志賀 海征	西浜 SLSC
2	進士 昂	下田 LSC
3	石田 宙	西浜 SLSC
4	クレイコナ大波	西浜 SLSC
5	森田 優	成城学園 LSC
6	奈良部 元春	湘南ひらつか LSC
7	吉塚 斗優	西浜 SLSC
8	丸山 雄平	TKS

◆1km ビーチラン 中学生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	クレイコナ大波	西浜 SLSC
2	露木 凜	湯河原 LSC
3	遠藤 海七希	パディ冒険団
4	三保谷 悠	パディ冒険団
5	本澤 匠真	成城学園 LSC
6	藤巻 遥哉	柏崎 LSC
7	吉田 成希	成城学園 LSC
8	奈良部 元春	湘南ひらつか LSC

◆ニッパードボードレース 中学生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	堺澤 舞香	館山 SLSC
2	新井 里英	成城学園 LSC
3	峯岸 陶子	西浜 SLSC
4	興石 晴歩	館山 SLSC
5	正木 友海	館山 SLSC
6	田邊 あめり	成城学園 LSC
7	渡辺 幸	西浜 SLSC
8	橋本 未波	館山 SLSC

◆サーフレース 高校生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	室伏 郁花	湯河原 LSC
2	速水 彩	柏崎 LSC
3	津嶋 笑満花	館山 SLSC
4	吉田 絢香	十文字高校 LSC
5	酒見 琳	KITAJIMAQUATICS
6	中村 悠佳里	十文字高校 LSC
7	内堀 夏怜	西浜 SLSC
8	福井 友菜	十文字高校 LSC

◆ニッパードボードレース 中学生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	クレイコナ大波	西浜 SLSC
2	志賀 海征	西浜 SLSC
3	進士 昂	下田 LSC
4	雨宮 利明	成城学園 LSC
5	江渡 祐太郎	下田 LSC
6	岩井 壮司	館山 SLSC
7	峯岸 賢太郎	西浜 SLSC
8	藤巻 遥哉	柏崎 LSC

◆サーフレース 高校生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	クレイアロン竜波	西浜 SLSC
2	志賀 海征	西浜 SLSC
3	畑中 優太	日体大荏原高校 LSC
4	雨宮 利明	成城学園 LSC
5	菊池 遼太郎	鎌倉 LG
6	松木 菜大	日体大荏原高校 LSC
7	森野 郁也	日体大荏原高校 LSC
8	石井 翔悟	成城学園 LSC

◆ビーチフラッグス 中学生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	江田 望実	下田 LSC
2	正木 友海	館山 SLSC
3	木津谷 海乃	館山 SLSC
4	渡辺 幸	西浜 SLSC
5	高橋 奈子	下田 LSC
6	川下 遥	館山 SLSC
7	飯田 百音	下田 LSC
8	峯岸 陶子	西浜 SLSC

◆ボードレース 高校生 女子

順位	競技者名	チーム名
1	内堀 夏怜	西浜 SLSC
2	室伏 郁花	湯河原 LSC
3	津嶋 笑満花	館山 SLSC
4	速水 彩	柏崎 LSC
5	鶴木 海緒	館山 SLSC
6	深見 陽向	鎌倉 LG
7	川隅 由貴	日体大荏原高校 LSC
8	正木 友海	館山 SLSC

◆ビーチフラッグス 中学生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	クレイコナ大波	西浜 SLSC
2	遠藤 海七希	パディ冒険団
3	村田 慈英	パディ冒険団
4	奈良部 元春	湘南ひらつか LSC
5	鈴木 陽大	西浜 SLSC
6	鶴野 詠斗	パディ冒険団
7	三保谷 悠	パディ冒険団
8	新井 海翔	パディ冒険団

◆ボードレース 高校生 男子

順位	競技者名	チーム名
1	菅原 佳澄	西浜 SLSC
2	クレイアロン竜波	西浜 SLSC
3	森野 郁也	日体大荏原高校 LSC
4	内田 海	大磯 LSC
5	石田 宙	西浜 SLSC
6	クレイコナ大波	西浜 SLSC
7	菊池 遼太郎	鎌倉 LG
8	志賀 海征	西浜 SLSC

第 9 回全日本ユースライフセービング競技会

第 14 回全日本ジュニアライフセービング競技会

2017 年 8 月 26 日（土）～27 日（日） 岩井海岸（千葉県）12 チーム 149 名参加

◆ビーチフラッグス 高校生 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	田中 綾	昭和第一学園高等学校 LSC
2	江田 望実	下田 LSC
3	西川 瑞代	日体大荏原高校 LSC
4	中嶋 佳菜子	成城学園 LSC
5	川隅 由貴	日体大荏原高校 LSC
6	山内 彩莉	成城学園 LSC
7	原 香織	成城学園 LSC
8	北川 麻里亜	湯河原 LSC

◆ビーチフラッグス 高校生 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	坂本 真徳	西浜 SLSC
2	大野 琉宇那	成城学園 LSC
3	竹花 悠也	日体大荏原高校 LSC
4	大中 望実	成城学園 LSC
5	森野 郁也	日体大荏原高校 LSC
6	金 恭平	昭和第一学園高等学校 LSC
7	山口 智聖	昭和第一学園高等学校 LSC
8	井上 祐里	西浜 SLSC

◆1km ビーチラン 高校生 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	新田 歩	成城学園 LSC
2	渡邊 あかり	昭和第一学園高等学校 LSC
3	黒佐 華子	成城学園 LSC
4	梅林 香歩	昭和第一学園高等学校 LSC
5	伊藤 結希	西浜 SLSC
6	高山 奈月	成城学園 LSC
7	中村 あかり	成城学園 LSC
8	國枝 美海	成城学園 LSC

◆1km ビーチラン 高校生 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	クレイアーロン竜波	西浜 SLSC
2	谷 健太郎	成城学園 LSC
3	熊谷 颯太	昭和第一学園高等学校 LSC
4	高橋 滉貴	昭和第一学園高等学校 LSC
5	松本 宗大	成城学園 LSC
6	石井 翔悟	成城学園 LSC
7	馬場 俊	昭和第一学園高等学校 LSC
8	三好 雄稀	日体大荏原高校 LSC

◆タップリンリレー 中学生 女子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

◆タップリンリレー 中学生 男子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

◆タップリンリレー 高校生 女子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

◆タップリンリレー 高校生 男子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

◆ボードレスキュー 高校生 女子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

◆ボードレスキュー 高校生 男子		
順位	チーム名	競技者名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

荒天のため未実施

天候不良のため、チーム種目の実施なし

☆チーム総合		
順位	チーム名	得点
1	西浜 SLSC	199
2	館山 SLSC	103
3	湯河原・稲毛 LSC	68
4	鎌倉 LG	64
4	TKS	56
6	勝浦 LSC	53
7	下田 LSC	45
8	TEAM BUDDY	41
9	湘南ひらつか LSC	33
10	KITAJIMAQUATICS	31
11	世田谷 SA	20
12	山形 LSC	4

◆ウェディングレース 小学 1・2 年生女子		
順位	競技者名	チーム名
1	杉山 冬華	TKS
2	矢上 結月	館山 SLSC
3	菊地 夏妃	鎌倉 LG
4	中山 桃子	鎌倉 LG
5	鶴野 いろ	TEAM BUDDY
6	板垣 来奈美	TKS
7	山田 菜月	TKS
8	佐藤 愛菜	湯河原・稲毛 LSC

◆ウェディングレース 小学 1・2 年生男子		
順位	競技者名	チーム名
1	豊田 琉皇	湯河原・稲毛 LSC
2	山口 航誠	TKS
3	住吉 蒼玄	館山 SLSC
4	倉橋 湊	館山 SLSC
5	安達 大雄	勝浦 LSC
6	雲野 樹	西浜 SLSC
7	多賀 海陽	西浜 SLSC
8	中西 亮太	TEAM BUDDY

◆ランスイムラン 小学 3・4 年生女子		
順位	競技者名	チーム名
1	堀内 海愛	下田 LSC
2	飯田 凜音	下田 LSC
3	小川 歩海	館山 SLSC
4	倉橋 和奏	館山 SLSC
5	デイビース 美彩	鎌倉 LG
6	田村 しずく	鎌倉 LG
7	吉田 空	鎌倉 LG
8	岩本 萌渚	西浜 SLSC

◆ランスイムラン 小学 3・4 年生男子		
順位	競技者名	チーム名
1	浜地 權依	西浜 SLSC
2	三宅 悠一朗	西浜 SLSC
3	佐藤 朝陽	湯河原・稲毛 LSC
4	小松 壮	世田谷 SA
5	岩本 禪太郎	湯河原・稲毛 LSC
6	高田 理世	西浜 SLSC
7	鈴木 連太郎	TKS
8	小鮒 聖斗	西浜 SLSC

◆ランスイムラン 小学 5・6 年生女子		
順位	競技者名	チーム名
1	久保田 純令	湘南ひらつか LSC
2	関口 美海	KITAJIMAQUATICS
3	小川 七海	館山 SLSC
4	浜地 沙羅	西浜 SLSC
5	久木 朱璃	山形 LSC
6	小林 文海	湯河原・稲毛 LSC
7	富田 月子	KITAJIMAQUATICS
8	進士 佳乃	下田 LSC

◆ランスイムラン 小学 5・6 年生男子		
順位	競技者名	チーム名
1	志賀 海空	西浜 SLSC
2	田代 立	KITAJIMAQUATICS
3	小松 玄	世田谷 SA
4	太田 凱	西浜 SLSC
5	佐保田 心脩	TKS
6	宮本 大輝	KITAJIMAQUATICS
7	成田 湊	西浜 SLSC
8	布方 勇海	西浜 SLSC

◆ニッパードレス 小学 3・4 年生女子		
順位	競技者名	チーム名
1	飯田 凜音	下田 LSC
2	小川 歩海	館山 SLSC
3	デイビース 美彩	鎌倉 LG
4	吉田 空	鎌倉 L
5	武居 令	勝浦 LSC
6	深見 愛音	鎌倉 LG
7	末吉 由芽	勝浦 LSC
8	倉橋 和奏	館山 SLSC

◆ニッパードレス 小学 3・4 年生男子		
順位	競技者名	チーム名
1	浜地 權依	西浜 SLSC
2	小鮒 聖斗	西浜 SLSC
3	遠藤 海之流	TEAM BUDDY
4	高田 理世	西浜 SLSC
5	前田 陸斗	館山 SLSC
6	三宅 悠一朗	西浜 SLSC
7	金高 右京	館山 SLSC
8	岩本 禪太郎	湯河原・稲毛 LSC

◆ニッパードレス 小学 5・6 年生女子		
順位	競技者名	チーム名
1	浜地 沙羅	西浜 SLSC
2	久保田 純令	湘南ひらつか LSC
3	小川 七海	館山 SLSC
4	高梨 帆南	勝浦 LSC
5	小林 文海	湯河原・稲毛 LSC
6	関口 美海	KITAJIMAQUATICS
7	関 裕里	勝浦 LSC
8	ランブルアリエル	鎌倉 LG

◆ニッパードレス 小学 5・6 年生男子		
順位	競技者名	チーム名
1	布方 勇海	西浜 SLSC
2	菅原 明澄	西浜 SLSC
3	志賀 海空	西浜 SLSC
4	太田 凱	西浜 SLSC
5	布方 達海	西浜 SLSC
6	伊藤 仁之助	西浜 SLSC
7	宮本 大輝	KITAJIMAQUATICS
8	成田 湊	西浜 SLSC

◆ビーチフラッグス 小学 1・2 年生 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	佐藤 愛菜	湯河原・稲毛 LSC
2	杉山 冬華	TKS
3	鶴野 いろ	TEAM BUDDY
4	山田 菜月	TKS
5	板垣 来奈美	TKS
6	矢上 結月	館山 SLSC
7	菊地 夏妃	鎌倉 LG
8	増田 樹心	館山 SLSC

◆ビーチフラッグス 小学 1・2 年生 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	豊田 琉皇	湯河原・稲毛 LSC
2	倉橋 湊	館山 SLSC
3	山口 航誠	TKS
4	金高 玄弥	館山 SLSC
5	中西 亮太	TEAM BUDDY
6	雲野 樹	西浜 SLSC
7	住吉 蒼玄	館山 SLSC
8	井上 大地	西浜 SLSC

◆ビーチフラッグス 小学 3・4 年生 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	倉橋 和奏	館山 SLSC
2	鶴野 おと	TEAM BUDDY
3	武居 令 C	勝浦 LS
4	飯田 凜音	下田 LSC
5	吉田 空	鎌倉 LG
6	デイビース 美彩	鎌倉 LG
7	堀内 海愛	下田 LSC
8	小川 歩海	館山 SLSC

◆ビーチフラッグス 小学 3・4 年生 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	浜地 權依	西浜 SLSC
2	安達 太聖	勝浦 LSC
3	森田 健ノ介	鎌倉 LG
4	小川 正哉	世田谷 SA
5	岩本 禪太郎	湯河原・稲毛 LSC
6	小鮒 聖斗	西浜 SLSC
7	高田 理世	西浜 SLSC
8	山下 凱吏	下田 LSC

◆ビーチフラッグス 小学 5・6 年生 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	高野 紗世	西浜 SLSC
2	高梨 帆南	勝浦 LSC
3	村田 心路	TEAM BUDDY
4	宮田 沙那	湘南ひらつか LSC
5	関 裕里	勝浦 LSC
6	中江 悠空	鎌倉 LG
7	久保田 純令	湘南ひらつか LSC
8	伊藤 美咲姫	世田谷 SA

◆ビーチフラッグス 小学 5・6 年生 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	菅原 明澄	西浜 SLSC
2	布方 勇海	西浜 SLSC
3	伊藤 仁之助	西浜 SLSC
4	太田 凱	西浜 SLSC
5	佐保田 心脩	TKS
6	布方 達海	西浜 SLSC
7	成田 湊	西浜 SLSC
8	中村 蓮斗	鎌倉 LG

第 14 回全日本ジュニアライフセービング競技会

第 32 回全日本学生ライフセービング選手権大会

2017 年 9 月 23 日（土）～24 日（日） 御宿中央海岸（千葉県御宿町）41 チーム 643 名参加

◆タップリンリレー 小学4年生以下 男女

順位	チーム名	競技者名
1	西浜 SLSC	三宅 悠一朗、浜地 權依、小鮒 聖斗
2	湯河原・稲毛 LSC	佐藤 朝陽、豊田 琉皇、岩本 禅太郎
3	下田 LSC	飯田 凜音、添田 遼太郎、山下 凱吏
4	館山 SLSC	前田 陸斗、小川 歩海、金高 右京
5	TKS	鈴木 連太朗、横山 瑛大、山口 航誠
6	世田谷 SA	小松 壮、玉水 翔太、大浦 晴人
7	勝浦 LSC	安達 太聖、武居 令、末吉 由芽
8	鎌倉 LG	田村 しずく、デイビース 美彩、ランブルオーシャン

◆タップリンリレー 小学6年生以下 女子

順位	チーム名	競技者名
1	西浜 SLSC	浜地 沙羅、池田 早陽、高野 紗世
2	館山 SLSC	小川 七海、前田 芽依、増田 妃莉
3	湘南ひらつか LSC	久保田 純令、宮田 沙那、山口 小春
4	下田 LSC	進士 佳乃、江渡 梨紗、石塚 比奈子
5	鎌倉 LG	橋本 春、名取 暦詩心、中江 悠空
6	湯河原・稲毛 LSC	小林 文海、朽方 杏香、佐藤 愛菜
7	勝浦 LSC	関 裕里、高梨 帆南、末吉 暖歌
8	TEAM BUDDY	古井丸 美涼、村田 心路、鶴野 うた

◆タップリンリレー 小学6年生以下 男子

順位	チーム名	競技者名
1	西浜 SLSC	志賀 海空、菅原 明遼、伊藤 仁之助
2	湯河原・稲毛 LSC	佐藤 朝陽、豊田 海皇、豊田 琉皇
3	TEAM BUDDY	高山 尚、遠藤 海之流、石渡 聖
4	勝浦 LSC	ギレットラルフ、渡辺 祥、安達 太聖
5	鎌倉 LG	デイビース 一翔、中村 蓮斗、渡辺 大地
6	館山 SLSC	鈴木 大晟、鈴木 陽琉、北松 蓮
失格	世田谷 SA	小松 玄、小松 壮、小川 正哉

◆ニッパーボードリレー 小学3・4・5・6年生 男女

順位	チーム名	競技者名
1	西浜 SLSC	布方 勇海、成田 湊、太田 凱
2	KITAJIMAQUATICS	宮本 大輝、関口 美海、田代 立
3	館山 SLSC	小川 七海、前田 芽依、鈴木 陽琉
4	湘南ひらつか LSC	浅賀 英貴、山口 小春、久保田 純令
5	湯河原・稲毛 LSC	小林 文海、朽方 杏香、豊田 海皇
6	勝浦 LSC	高梨 帆南、関 裕里、渡辺 祥
7	下田 LSC	江渡 梨紗、飯田 凜音、進士 佳乃
8	鎌倉 LG	名取 暦詩心、ランブルアリエル、中村 蓮斗

☆チーム総合 女子

順位	チーム名	得点
1	日本体育大学	77
2	日本女子体育大学	55
3	東海大学湘南校舎	43
4	東京女子体育大学	41
5	早稲田大学	31
6	東海大学清水校舎	29
7	順天堂大学	23
8	慶應義塾大学	20

☆チーム総合 男子

順位	チーム名	得点
1	国士館大学	57
2	日本体育大学	52
3	東海大学湘南校舎	49
4	日本大学	41
5	国際武道大学	36
6	法政大学	29
7	中央大学	26
8	早稲田大学	23

◆サーフレース 女子

順位	競技者名	チーム名
1	黒岩 美緒	日本女子体育大学
2	山口 茜	日本女子体育大学
3	串田 愛	早稲田大学
4	高村 星	慶應義塾大学
5	田村 実絵	日本女子体育大学
6	熊木 なつみ	帝京大学
7	土井 夢子	日本女子体育大学
8	小田 真木子	早稲田大学

◆サーフレース 男子

順位	競技者名	チーム名
1	篠原 優太	国士館大学
2	池端 拓海	日本大学
3	小日向 勇二	国士館大学
4	渡邊 孝之	法政大学
5	林 誠海	東海大学湘南校舎
6	上野 凌	慶應義塾大学
7	小松 海登	法政大学
8	堀内 敦貴	東洋大学

◆レスキューチューブレスキュー 女子

順位	チーム名	競技者名
1	早稲田大学	串田 愛、丸山 みどり、四倉 繪子、大平 穂乃佳
2	日本体育大学	阿形 芽生、北原 由実子、中田 碧、浦田 麻友
3	日本女子体育大学	黒岩 美緒、山口 茜、仁木 信歩、神津 咲佳
4	帝京大学	五十嵐 陽菜、熊木 なつみ、石毛 杏奈、富田 有佐
5	日本大学	町田 遙加、櫻井 美乃、高部 朱里、長谷川 舞
6	杏林大学	青木 三華、荒川 智紗子、堀口 華代、板橋 未来
7	慶應義塾大学	高村 星、藤巻 紗月、上野 真凛、清原 晴佳
8	専修大学	山城 日向子、斉藤 夢美、杉本 早紀、小林 未奈

◆レスキューチューブレスキュー 男子

順位	チーム名	競技者名
1	早稲田大学	松本 侑也、前田 侃亮、滝野 駿介、高橋 佳樹
2	日本大学	池端 拓海、光野 智大、福村 颯太、河野 裕一郎
3	慶應義塾大学	佐藤 良亮、上野 凌、横山 智、天野 竜誠
4	国際武道大学	永石 哲朗、熊木 渉、坂江 一希、土井 仁博
5	日本体育大学	川嶋 駿介、有原 和俊、辻本 佳起、赤坂 祐太
6	大阪体育大学	大野 悟、藤森 佑輝、中村 仁貴、蔵奈 建哉
7	東洋大学	堀内 敦貴、細川 大介、富山 正樹、中里 秀平
8	国士館大学	小日向 勇二、新井 成法、塚本 佳樹、酒主 航太

◆サーフスキーレース 女子

順位	競技者名	チーム名
1	北原 由実子	日本体育大学
2	一原 枝厘花	東海大学湘南校舎
3	高橋 志穂	新潟産業大学
4	古川 萌子	筑波大学
5	土肥 はづき	筑波大学
6	井高 絵蓮	東京女子体育大学
7	船津 美帆	東海大学湘南校舎
8	鈴木 結子	東海大学清水校舎

◆サーフスキーレース 男子

順位	競技者名	チーム名
1	小松 海登	法政大学
2	上野 凌	慶應義塾大学
3	篠原 優太	国士館大学
4	佐々木 駿	東海大学湘南校舎
5	榎本 宏暉	国際武道大学
6	片山 雄起	新潟産業大学
7	椿 大志	流通経済大学
8	岩井 浩大	日本体育大学

◆オーシャンウーマン

順位	競技者名	チーム名
1	上野 真凛	慶應義塾大学
2	高橋 志穂	新潟産業大学
3	船津 美帆	東海大学湘南校舎
4	名須川 茉莉乃	横浜薬科大学
5	一原 枝厘花	東海大学湘南校舎
6	北原 由実子	日本体育大学
7	山口 茜	日本女子体育大学
8	白鳥 紗貴	青山学院大学

◆オーシャンマン

順位	競技者名	チーム名
1	小松 海登	法政大学
2	池端 拓海	日本大学
3	渡邊 孝之	法政大学
4	上野 凌	慶應義塾大学
5	篠原 優太	国士館大学
6	佐藤 悠太	中央大学
7	徳応 涼輔	日本体育大学
8	深水 雄	中央大学

◆ボードリレー 女子

順位	チーム名	競技者名
1	東海大学湘南校舎	一原 枝厘花、船津 美帆、照沼 可琳
2	日本体育大学	桜井 萌子、具志堅 夕、阿形 芽生
3	日本大学	木村 仁美、山口 恵奈、櫻井 美乃
4	順天堂大学	田之上 紗和子、中澤 葉月、牧 由佳
5	青山学院大学	白鳥 紗貴、小坂 芽衣、田村 汐帆理
6	東海大学清水校舎	鈴木 結子、國井 菜名、清水 麻衣子
7	杏林大学	板橋 未来、堀口 華代、丸 郁子
8	東京女子体育大学	竹内 ティアレ、佐々木 恵、末次 凜

◆ボードリレー 男子

順位	チーム名	競技者名
1	東海大学湘南校舎	福山 雅也、竹内 一平、石塚 康敬
2	国際武道大学	榎本 宏暉、谷田 和也、野々村 勇二
3	中央大学	小林 大我、塚本 涼太郎、佐藤 悠太
4	順天堂大学	田中 丈一、西崎 賢、大谷 俊樹
5	国士館大学	谷脇 拓実、小日向 勇二、篠原 優太
6	日本体育大学	小林 駿太、佐藤 亮佑、岸田 興喜
7	成城大学	大野 芳誉、吉川 昂伸、信岡 海
8	日本大学	池端 拓海、重岡 寛也、鈴木 瑛久

第 32 回全日本学生ライフセービング選手権大会

第 43 回全日本ライフセービング選手権大会

2017 年 10 月 7 日（土）～8 日（日） 片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市） 64 チーム 1,266 名参加

◆ボードレスキュー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本女子体育大学	黒岩 美緒、山口 茜
2	日本体育大学	阿形 芽生、桜井 萌子
3	東海大学湘南校舎	船津 美帆、一原 枝厘花
4	順天堂大学	中澤 葉月、田之上 紗和子
5	早稲田大学	串田 愛、丸山 みどり
6	青山学院大学	小坂 芽衣、白鳥 紗貴
7	日本大学	櫻井 美乃、木村 仁美
8	東京女子体育大学	竹内 ティアレ、末次 凜

◆ボードレスキュー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	川嶋 駿介、岸田 興喜
2	早稲田大学	前田 侃亮、田丸 純太郎
3	東海大学湘南校舎	石塚 康敬、竹内 一平
4	国士舘大学	篠原 優太、谷脇 拓実
5	中央大学我	佐藤 悠太、小林 大
6	順天堂大学	弓削 匠、大谷 俊樹
7	成城大学	大野 芳誉、吉川 昂伸
8	杏林大学郎	浅見 有輝、知念 幸一

◆オーシャンウーマンリレー		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	北原 由美子、阿形 芽生、桜井 萌子、竹内 歩
2	東海大学湘南校舎	一原 枝厘花、船津 美帆、照沼 可琳、牧野 結衣
3	早稲田大学	小田 真木子、串田 愛、丸山 みどり、大平 穂乃佳
4	慶應義塾大学	上野 真凜、藤巻 紗月、高村 星、清原 晴佳
5	東海大学清水校舎	石塚 鈴菜、鈴木 風花、鈴木 結子、南 理沙
6		
7		
8		

◆オーシャンマンリレー		
順位	チーム名	競技者名
1	日本大学	池端 拓海、光野 智大、鈴木 瑛久、河野 裕一郎
2	東海大学湘南校舎	佐々木 駿、林 誠海、石塚 康敬、福山 雅也
3	国際武道大学	榎本 宏暉、永石 哲朗、野々村 勇二、吉川 喬哉
4	国士舘大学	酒主 航太、篠原 優太、谷脇 拓実、古越 友規
5	中央大学	佐藤 悠太、小林 大我、塚本 涼太郎、田中 一平
6	大阪体育大学	福井 佑都、児玉 拓二、大西 飛翔、橋谷 俊平
7	順天堂大学	田中 文一、弓削 匠、大谷 俊樹、平紙 慎也
8	流通経済大学	椿 大志、亀谷 重思、小山 広将、千代 大斗

◆ビーチリレー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	吉國 春菜、中田 碧、杉崎 友梨、竹内 歩
2	東京女子体育大学	平本 依吹、真部 夏、井口 彩紀、高橋 紗那
3	日本女子体育大学	前川 紗楓、福村 理恵、伊佐 真美子、渡部 世梨
4	東洋大学	神宮司 好美、岡田 真琴、田中 柚香、佐藤 里咲
5	順天堂大学	中村 紗也香、若林 明穂、宮原 風沙、田之上 紗和子
6	東海大学湘南校舎	牧野 結衣、尼ヶ崎 羽鏡、今井 愛海、相原 凌子
7	東海大学清水校舎	柳 沙知香、石塚 鈴菜、清水 麻衣子、南 理沙
8	流通経済大学	大内 みのり、大柿 日和、瀬田 萌莉、今井 夏希
OP	選抜チーム	岡崎 美月、安達 奈緒、丸山 彩、喜瀬 知有良

◆ビーチリレー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	信坂 宜希、松村 稜、辻本 佳起、玉井 颯
2	杏林大学	北田 尚輝、小泉 雅樹、細越 寛瑛、保坂 涼太
3	日本大学	福村 颯太、大野 祥吾、柿崎 稔、河野 裕一郎
4	国士舘大学	原 実貴、藤田 大樹、飯田 侑樹、杉浦 悠
5	東海大学湘南校舎	嶋津 俊哉、柴田 爽生、小川 祐樹、福山 雅也
OP	選抜チーム	川面 啓祐、中村 晃大、渡邊 剛也、荒井 滉太郎
6	東洋大学	富山 正樹、竹田 陸央、中里 秀平、飯塚 洋介
7	成蹊大学	根本 遼、古栃 喜作、飯塚 勇二、東海林 颯
8	大阪体育大学	入江 司、西脇 滉希、柳下 卓弘、橋谷 俊平

◆1km×3 ビーチリレー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	生澤 安祐美、蜂須 静香、具志堅 夕
2	東海大学清水校舎	國井 菜名、清水 麻衣子、石塚 鈴菜
3	国士舘大学	小宅 芹菜、平野 季実子、伊勢 茉香呂
4	東京女子体育大学	菅野 紗帆、真部 夏、井口 彩紀
5	日本女子体育大学	歳矢 千尋、熊沢 葵、吉津 萌美
6	順天堂大学	坪内 郁実、中村 紗也香、田之上 紗和子
7	日本大学	谷 実久、臼田 史歩、高部 朱里
8	杏林大学	猿田 愛美、堀口 華代、丸 郁子

◆1km×3 ビーチリレー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学	渡邊 昂俊、神林 興生、小林 人生
2	順天堂大学	渡邊 剛也、濱村 勇太、弓削 匠
3	国際武道大学	柴崎 健太、塚野 優樹、井口 遥希
4	国士舘大学	出山 和典、佐滝 悠太、佐藤 大心
5	杏林大学	高橋 佑介、小泉 雅樹、栗田 恭輔
6	大阪体育大学	鶴飼 智生、大西 飛翔、遠山 優生
7	流通経済大学	幸田 咲菜、吉津 萌美、千代 大斗
8	東海大学湘南校舎	熊谷 健太郎、遠藤 佑介、石塚 康敬

◆BLS アセスメント 女子		
チーム名	評価	
青山学院大学	C	
茨城大学	B	
大阪体育大学	B	
杏林大学	B	
慶應義塾大学	B	
國學院大学	C	
国際武道大学	A	
国士舘大学	C	
実践女子大学	B	
順天堂大学	B	
成蹊大学	C	
成城大学	A	
専修大学	B	
拓殖大学	B	
千葉大学	A	
千葉科学大学	A	
中央大学	A	
筑波大学	A	
帝京大学	A	
東海大学清水校舎	A	
東海大学湘南校舎	B	
東京女子体育大学	A	
東洋大学	B	
新潟産業大学	B	
日本女子体育大学	B	
日本女子大学	B	
日本体育大学	A	
日本大学	B	
福井県立大学	A	
法政大学	C	
明治大学	B	
明星大学	A	
横浜薬科大学	A	
流通経済大学	B	
早稲田大学	B	

◆BLS アセスメント 男子		
チーム名	評価	
青山学院大学	B	
茨城大学	A	
大阪体育大学	B	
関西大学	C	
九州産業大学	C	
杏林大学	C	
慶應義塾大学	B	
国際武道大学	A	
国士舘大学	C	
順天堂大学	B	
成蹊大学	B	
成城大学	C	
専修大学	B	
大東文化大学	A	
拓殖大学	C	
千葉大学	C	
千葉科学大学	B	
中央大学	A	
中京大学	B	
筑波大学	A	
帝京大学	B	
東海大学清水校舎	A	
東海大学湘南校舎	A	
東洋大学	A	
新潟産業大学	A	
日本体育大学	A	
日本大学	B	
日本福祉大学	B	
福井県立大学	C	
福岡大学	B	
法政大学	B	
明治大学	B	
明星大学	B	
流通経済大学	A	
早稲田大学	A	

☆チーム総合		
順位	チーム名	得点

1 位 湯河原 LSC 122

2 位 下田 SLSC 88

3 位 銚子 LC 81

4 位 波崎 SLSC 74

5 位 西浜 LSC 60

6 位 日本体育大学 LSC 51

7 位 九十九里 LSC 49

8 位 勝浦 LSC 43

◆サーフスキーレース 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
2	一原 枝厘花	湯河原 LSC
3	久保 美沙代	和田浦 LSC
4	宮田 沙依	銚子 LC
5	青木 邦	湯河原 LSC
6	猪又 美佳	茅ヶ崎 SLSC
7	大山 玲奈	波崎 SLSC
8	河崎 綾子	湯河原 LSC

◆サーフスキーレース 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	西山 俊	湯河原 LSC
2	出木谷 啓太	九十九里 LSC
3	落合 慶二	東京消防庁 LSC
4	堀部 雄大	館山 SLSC
5	篠田 智哉 C	勝浦 LS
6	内田 直人	勝浦 LSC
7	松沢 斉	下田 LSC
8	山口 智史	下田 LSC

◆ボードレース 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	市川 恵理	湯河原 LSC
2	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC
3	丹羽 久美	勝浦 LSC
4	室伏 郁花	湯河原 LSC
5	白鳥 紗貴	波崎 SLSC
6	山口 茜	下田 LSC
7	山口 智可	波崎 SLSC
8	上野 真凜	西浜 SLSC

◆ボードレース 男子		
順位	競技者名	チーム名
OP	Burrows Rhys	Noosa Heads SLSC
OP	Farrell Beau	Maroochydore SLSC
1	石塚 康敬	湯河原 LSC
2	寒河江 健太	KITAJIMAQUATICS
3	高岡 洋介	下田 LSC
4	谷脇 拓実	下田 LSC
5	上野 凌	西浜 SLSC
6	廣田 涼太	西浜 SLSC
7	徳元 将太郎	湯河原 LSC
8	小林 大我	下田 LSC

◆オーシャンウーマン		
順位	競技者名	チーム名
1	三井 結里花	大磯 LSC
2	山本 裕紀子	若狭和田 LSC
3	名須川 紗綾	茅ヶ崎 SLSC
4	大山 玲奈	波崎 SLSC
5	高橋 志穂	柏崎 LSC
6	宮田 沙依	銚子 LC
7	青木 邦	湯河原 LSC
8	上野 真凜	西浜 SLSC

◆オーシャンマン		
順位	競技者名	チーム名
OP	Burrows Rhys	Noosa Heads SLSC
1	西山 俊	湯河原 LSC
2	園田 俊	西浜 SLSC
3	上野 凌	西浜 SLSC
4	小松 海登	波崎 SLSC
5	渡邊 孝之	下田 LSC
6	菅沼 寛也	下田 LSC
7	佐藤 悠太	波崎 SLSC
8	伊藤 俊輔	館山 SLSC

◆ビーチフラッグス 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	池谷 雅美	柏崎 LSC
2	但野 安菜	勝浦 LSC
3	前川 紗楓	銚子 LC
4	石塚 円香	鴨川 LSC
5	平本 依吹	西伊豆松崎 LSC
6	江田 望実	下田 LSC
OP	Tegan Maffescioni	North Cottesloe SLSC
7	南 理沙	用宗 LSC
8	山内 彩莉	成城学園 LSC

◆ビーチフラッグス 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	北田 尚輝	三浦海岸 SLSC
2	古越 友規	下田 LSC
3	堀江 星牙	勝浦 LSC
4	野口 勝成	式根島 LSC
5	高梨 友美生	土肥 LSC
6	石田 蒼一郎	西伊豆松崎 LSC
7	川面 敬祐	西伊豆松崎 LSC
8	菊池 真一	西伊豆松崎 LSC

◆ビーチスプリント 女子		
順位	競技者名	チーム名
OP	Tegan Maffescioni	North Cottesloe SLSC
1	田中 綾	昭和第一学園高等学校 LSC
2	佐藤 里咲	銚子 LC
3	大平 穂乃佳	波崎 SLSC
4	石塚 円香	鴨川 LSC
5	長野 文音	和田浦 LSC
6	川隅 由貴	日本体育大学荏原高等学校 LSC
7	西脇 純佳	大洗 SLSC
8	竹内 歩	日本体育大学 LSC

◆ビーチスプリント 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	森 新太郎	銚子 LC
2	玉井 颯	日本体育大学 LSC
3	荒井 滉太郎	今井浜 SLSC
4	川面 敬祐	西伊豆松崎 LSC
OP	Robert Hendriks	Biarritz Sauvutage Côtier
5	保坂 涼太	今井浜 SLSC
6	和田 賢一	式根島 LSC
7	岩井 寛文	東京消防庁 LSC
8	細越 寛瑛	下田 LSC

◆2km ビーチラン 女子		
順位	競技者名	チーム名
1	國井 菜名	御浜 LSC
2	國武 あかね	白浜 LSC
3	小林 果蓮	下田 LSC
4	蜂須 静香	日本体育大学 LSC
5	市川 恵理	湯河原 LSC
6	石塚 鈴奈	横原 LSC
7	清水 麻衣子	沼津 LSC
8	大内 みのり	西浜 SLSC

◆2km ビーチラン 男子		
順位	競技者名	チーム名
1	山中 裕二	拓殖大学 LSC
2	中川 慎太郎	西浜 SLSC
3	笹田 直太	式根島 LSC
4	佐藤 大心	鹿嶋 LGT
5	新堀 進悟	土肥 LSC
6	高橋 佑介	横浜海の公園 LSC
7	渡邊 昂俊	日本体育大学 LSC
8	河原 陸	日本体育大学 LSC

第 43 回全日本ライフセービング選手権大会

第 5 回全日本ジュニア / ユース ライフセービング・プール競技会

2017 年 12 月 16 日（土）～17 日（日） 宮城県総合プール（宮城県） 13 チーム 181 名参加

◆レスキューチューブレスキュー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	湯河原 LSC	土井 夢子、船津 美帆、熊木 なつみ、河崎 綾子
2	大磯 LSC	三井 結里花、船津 まどか、牧野 結衣、川嶋 望生
3	波崎 SLSC	大山 玲奈、丸山 みどり、大平 穂乃佳、谷川 あおい
4	西浜 SLSC	上野 真凜、坂本 佳凪子、石毛 杏奈、小林 愛菜
5	銚子 LC	栗真 千里、堤 茅咲、岡田 真琴、金子 真優
6	柏崎 LSC	速水 彩、高橋 志穂、瀬尾 晴香、小形 梨沙
7	下田 LSC	田村 実絵、山口 茜、山本 美帆、小室 祐季
8	勝浦 LSC	丹羽 久美、井戸上 萌、但野 安菜、喜瀬 知有良

◆レスキューチューブレスキュー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	湯河原 LSC	安藤 秀、西山 俊、深井 俊光、木村 岳人
2	九十九里 LSC	池端 拓海、光野 智大、西崎 賢、河野 裕一郎
3	波崎 SLSC	小松 海登、前田 侃亮、河井 拓夢、大谷 俊樹
4	辻堂 LC	佐藤 良亮、平野 修也、中川 健、上田 泰三
5	日本体育大学 LSC	川嶋 駿介、有原 和俊、辻本 佳起、赤坂 祐太
6	大阪体育大学 LSC	福井 佑都、楠本 瑞希、柳下 卓弥、田中 太規
7	勝浦 LSC	永石 哲朗、熊木 渉、土井 仁博、芹澤 勇作
8	館山 SLSC	深水 雄、千代 大斗、杉本 開、米田 入海

◆ボードレスキュー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	湯河原 LSC	青木 邦、市川 恵理
2	下田 LSC	田村 実絵、山口 茜
3	西浜 SLSC	坂本 佳凪子、上野 真凜
4	大磯 LSC	三井 結里花、照沼 可琳
5	日本体育大学 LSC	阿形 芽生、櫻井 萌子
6	波崎 SLSC	大山 玲奈、白鳥 紗貴
7	勝浦 LSC	丹羽 久美、井戸上 萌
8	熱川 LSC	黒岩 美緒、集貝 菜未

◆ボードレスキュー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学 LSC	川嶋 駿介、岸田 興喜
OP	Noosa Heads	Burrows Rhys、Burrows Conor
2	湯河原 LSC	西山 俊、青木 将展
3	波崎 SLSC	小松 海登、牛越 智
4	西伊豆松崎 LSC	森田 大地、信岡 海
5	銚子 LC	堀内 敦貴、岡部 直人
6	西浜 SLSC	上野 凌、園田 俊
7	館山 SLSC	伊藤 俊輔、堀部 雄大
8	下田 LSC	渡邊 孝之、高岡 洋介

◆ビーチリレー 女子		
順位	チーム名	競技者名
1	銚子 LC	前川 紗楓、栗真 千里、田中 柚香、佐藤 里咲
2	下田 LSC	小宅 芹菜、渡部 世梨、高橋 紗那、大橋 亜里沙
3	九十九里 LSC	谷 実久、疊 京香、佐々木 萌衣、真部 夏
4	日本体育大学荏原高等学校 LSC	大矢 幸恵、前田 葵、横山 愛美、川隅 由貴
5	土肥 LSC	渡辺 瑞喜、古林 南、中島 朋子、伊佐 眞美子
6	昭和第一学園高等学校 LSC	菱川 愛海、野中 紗良、奥田 桜子、田中 綾
7	大洗 SLSC	西脇 純佳、長谷川 綾音、小島 かおり、飯田 碧
8	成城学園 LSC	鈴木 真緒、男澤 聖奈、山内 彩莉、杉本 紗英

◆ビーチリレー 男子		
順位	チーム名	競技者名
1	日本体育大学 LSC	信坂 宜希、松村 稜、辻本 佳起、玉井 颯
2	下田 LSC	古越 友規、高田 和輝、細越 寛瑛、藤田 大樹
3	九十九里 LSC	西崎 賢、小原 和明、柿崎 稔、河野 裕一郎
4	大磯 LSC	嶋津 俊哉、市川 巧基、福山 雅也、中村 泰己
5	今井浜 SLSC	原 実貴、出山 和典、坂坂 涼太、荒井 凜太郎
6	西伊豆松崎 LSC	平紙 慎也、杉浦 悠、川面 敬祐、寺尾 匡人
7	勝浦 LSC	吉川 喬哉、澤田 芳岐、竹澤 康輝、堀江 星牙
8	波崎 SLSC	河井 拓夢、田丸 純太郎、横山 智、大谷 俊樹

◆オーシャンウーマンリレー		
順位	チーム名	競技者名
1	銚子 LC	宮田 沙依、佐野 七美、堤 茅咲、栗真 千里
2	波崎 SLSC	大山 玲奈、白鳥 紗貴、串田 愛、大平 穂乃佳
3	湯河原 LSC	一原 枝厘花、市川 恵理、河崎 綾子、船津 美帆
4	下田 LSC	斎藤 由里、山口 茜、田村 実絵、渡部 世梨
5	茅ヶ崎 SLSC	猪又 美佳、名須川 紗綾、名須川 茉莉乃、川瀬 茜
6	柏崎 LSC	高橋 志穂、池谷 雅美、速水 彩、瀬尾 晴香
7	西浜 SLSC	上野 真凜、片平 悠理亜メリッサ、坂本 佳凪子、竹之内 里佳
8	鹿嶋 LGT	高柴 瑠衣、坂本 耀、小田 眞木子、山田 エリカ

◆オーシャンマンリレー		
順位	チーム名	競技者名
1	湯河原 LSC	西山 俊、石塚 康敬、林 誠海、安藤 秀
2	九十九里 LSC	出木谷 啓太、川田 航平、溝井 巧、池端 拓海
3	波崎 SLSC	牛越 智、小松 海登、松林 俊樹、佐藤 悠太
4	銚子 LC	浅見 雄一郎、岡部 直人、堀内 敦貴、森 新太郎
5	下田 LSC	松沢 斉、谷脇 拓実、小日向 勇二、細越 寛瑛
6	西浜 SLSC	荒井 洋佑、園田 俊、廣田 諒、上野 凌
7	勝浦 LSC	篠田 智哉、榎本 宏暉、永石 哲朗、堀江 星牙
8	鹿嶋 LGT	須田 邦彦、福田 正樹、佐々木 萌佑、高橋 佳樹

◆BLS アセスメント		
順位	チーム名	評価
	熱川 LSC	B
	今井浜 SLSC	B
	岩井 LSC	C
	大磯 LSC	A
	大阪 LSC	C
	大阪体育大学 LSC	B
	大竹 SLSC	C
	鹿嶋 LGT	A
	柏崎 LSC	A
	勝浦 LSC	A
	鎌倉 LG	C
	鴨川 LSC	A
	KITAJIMAQUATICS	B
	九十九里 LSC	A
	神戸 LSC	A
	相良 SLSC	B
	座間味 LSC	A
	式根島 LSC	B
	下田 LSC	B
	十文字高校 LSC	B
	湘南ひらつか LSC	B
	昭和第一学園高校 LSC	B
	白浜 LSC	B
	逗子 LSC	B
	成城学園 LSC	A
	拓殖大学 LSC	C
	チーム名	評価
	館山 SLSC	C
	茅ヶ崎 SLSC	A
	銚子 LC	A
	辻堂 LC	B
	土肥 LSC	B
	東京消防庁 LC	A
	新島 LSC	A
	西伊豆・松崎 LSC	A
	西浜 SLSC	A
	日体大荏原高校 LSC	A
	日本体育大学 LSC	B
	沼津 LSC	A
	萩 LSC	C
	波崎 SLSC	A
	浜田 LSC	A
	浜松 LSC	A
	葉山 LSC	B
	三浦海岸 SLSC	A
	御浜 LSC	C
	用宗 LSC	A
	湯河原 LSC	A
	横浜海の公園 LSC	A
	若狭和田 LSC	B
	和田浦 LSC	A
	大洗 LSC	A
	榛原 LSC	A

◆50m 障害物スイム 小学生 3.4 年 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	山本 華澄	世田谷 S A	34.41 大会新
2	牧野 花梨	世田谷 S A	36.08 大会新
3	小川 歩海	館山	44.52
4	船水 寧々	山形	49.56
5	吉田 千柚	柏崎	50.92
6	山崎 さくら	柏崎	52.48
7	石井 沙季	山形	1:06.27
8	永井 美由紀	柏崎	1:29.00

◆50m 障害物スイム 小学生 3.4 年 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	浜地 權依	西浜	36.15 大会新
2	佐藤 朝陽	湯河原	38.14
3	小松 壮	世田谷 S A	39.00
4	岩本 禅太郎	湯河原	40.35
5	白幡 賢司	T K S	43.41
6	大久保 悠翔	T K S	47.16
7	小鮒 聖斗	西浜	48.76
8	小川 正哉	世田谷 S A	51.36

◆50m 障害物スイム 小学生 5.6 年 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	関口 美海	キタジマ	33.97 大会新
2	池田 樹里	山形	34.68
3	浜地 沙羅	西浜	35.47
4	富田 月子	キタジマ	35.67
5	久木 朱璃	山形	35.90
6	小川 七海	館山	36.80
7	生田目 薫乃	柏崎	41.42
8	朽方 杏香	湯河原	52.62

◆50m 障害物スイム 小学生 5.6 年 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	宮本 大輝	キタジマ	32.85
2	盛 暢孝	キタジマ	33.12
3	小松 玄	世田谷 S A	33.48
4	菅原 明澄	西浜	37.86
5	太田 凱	西浜	37.87
6	船水 子龍	山形	38.86
7	矢島 世晋	世田谷 S A	39.61
8	布方 勇海	西浜	43.61

◆100m 障害物スイム 中学生 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	中嶋 珠実	世田谷 S A	1:05.55 大会新
2	堺澤 舞香	館山	1:06.23 大会新
3	服部 亜実	キタジマ	1:06.48 大会新
4	大場 未羽	山形	1:11.12
5	谷中 七桜子	十文字高校	1:11.95
6	関口 莉歩	キタジマ	1:12.53
7	田中 伶奈	キタジマ	1:12.67
8	久木 翠	山形	1:13.17

◆100m 障害物スイム 中学生 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	桜田 悠希	盛岡	1:04.34
2	高橋 琉生	盛岡	1:04.53
3	岸波 志音	キタジマ	1:04.62
4	藤巻 通哉	柏崎	1:06.89
5	丸山 雄平	T K S	1:07.98
6	小橋 廉太郎	世田谷 S A	1:08.61
7	岡崎 拓海	世田谷 S A	1:09.17
8	露木 凜	湯河原	1:13.18

◆100m 障害物スイム 高校生 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	稲畑 桃子	日体大荏原	1:07.49
2	吉田 絢香	十文字高校	1:08.96
3	高橋 みなみ	盛岡	1:09.32
4	山路 侑茄	日体大荏原	1:09.54
5	加藤 慧	十文字高校	1:10.21
6	吉澤 柚衣	日体大荏原	1:10.44
7	加賀谷 美羽	日体大荏原	1:12.23
8	石野 夏未	十文字高校	1:12.44

◆100m 障害物スイム 高校生 男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	雨宮 利明	キタジマ	58.97
2	畑中 優太	日体大荏原	59.20
3	松本 葵大	日体大荏原	59.60
4	青山ウィリアム	キタジマ	1:03.85
5	山下 健翔	世田谷 S A	1:06.86
6	浦山 惇弥	山形	1:08.52
7	永井 樹	柏崎	1:09.36
8	塚本 輝	山形	1:11.52

◆100m レスキューチューブトウ小学生 3.4 年女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	山本 華澄	世田谷 SA	1:22.01 大会新
2	牧野 花梨	世田谷 SA	1:32.78
3	小川 歩海	館山	1:48.65
4	山崎 さくら	柏崎	2:02.19
5	吉田 千柚	柏崎	2:04.80
6	船水 寧々	山形	2:05.43
7	五十嵐 咲妃	山形	2:25.51
8	石井 沙季	山形	2:47.69

◆100m レスキューチューブトウ小学生 3.4 年男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	浜地 權依	西浜	1:30.50 大会新
2	岩本禅太郎	湯河原	1:43.44
3	白幡 賢司	TKS	1:57.44
4	大久保 悠翔	TKS	1:59.00
5	小鮒 聖斗	西浜	2:05.60
6	大場 弘斗	山形	3:12.01
7			
8			

◆100m レスキューチューブトウ小学生 5.6 年女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	小川七海	館山	1:22.93
2	池田 樹里	山形	1:23.16
3	浜地 沙羅	西浜	1:23.35
4	関口 美海	キタジマ	1:25.56
5	富田 月子	キタジマ	1:28.73
6	久木 朱璃	山形	1:29.58
7	生田目 薫乃	柏崎	1:40.63
8	三浦 通華	山形	2:07.99

◆100m レスキューチューブトウ小学生 5.6 年男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	盛 暢孝	キタジマ	1:21.74
2	小松 玄	世田谷 SA	1:21.85
3	宮本 大輝	キタジマ	1:23.72
4	菅原 明澄	西浜	1:28.44
5	船水 子龍	山形	1:33.13
6	矢島 世晋	世田谷 SA	1:33.41
7	太田 凱	西浜	1:34.23
8	布方 勇海	西浜	1:42.64

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 中学生女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	大熊 美咲	西浜	1:15.92
2	小橋 桃子	世田谷 SA	1:17.50
3	関口 莉歩	キタジマ	1:19.86
4	中嶋 珠葵	世田谷 SA	1:21.29
5	高橋 菜子	世田谷 SA	1:21.31
6	興石 晴歩	世田谷 SA	1:22.95
7	久木 翠	山形	1:28.30
8			

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 中学生男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	クレイナ 大渡	西浜	1:09.39
2	露木 凜	湯河原	1:11.43
3	小橋 廉太郎	世田谷 SA	1:11.52
4	生田目文太郎	柏崎	1:19.51
5	吉田 斐	柏崎	1:23.46
6	丸山 雄平	TKS	1:25.00
7	坂上 聖虎	柏崎	1:32.52
8			

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 高校生女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	速水 彩	柏崎	1:10.06
2	津嶋 笑満花	館山	1:12.44
3	川隅 由貴	日体大荏原	1:12.85
4	内堀 夏怜	西浜	1:12.89
5	室伏 郁花	湯河原	1:13.05
6	前田 葵	日体大荏原	1:17.42
7	天川 葉月	西浜	1:18.28
8			

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 高校生男子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	森野 郁也	日体大荏原	1:00.73 大会新
2	日高 昂	館山	1:03.46
3	佐藤 龍之介	日体大荏原	1:05.96
4	三浦 佑真	気仙沼	1:08.22
5	塚本 輝	山形	1:09.18
6	永井 樹	柏崎	1:09.73
7			
8			

◆50m マネキンキャリー 中学生 女子			
順位	競技者名	チーム名	記録
1	服部 亜実	キタジマ	42.74 大会新
2	谷中 七桜子	十文字高校	45.31
3	正木 友海	世田谷 SA	49.01
4	興石 晴歩	世田谷 SA	51.19
5	高橋 かのん	西浜	57.96
6	天川 文乃	西浜	1:07.26
7	木津谷 海乃	館山	1:08.55
8			

第 5 回全日本ジュニア / ユース ライフセービング・プール競技会

第 9 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

2018 年 1 月 27 日（土）～28 日（日） 富士水泳場（静岡県） 33 チーム 627 名参加

◆50m マネキンキャリー 高校生 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	林 愛莉	日体大荻原	0:41.39 大会新
2	室伏 郁花	湯河原	0:41.75 大会新
3	津嶋 笑満花	館山	0:42.12
4	速水 彩	柏崎	0:43.82
5	内堀 夏怜	西浜	0:45.04
6	山路 倅茄	日体大荻原	0:45.93
7	森 梓咲	日体大荻原	0:46.88
8	吉澤 柚衣	日体大荻原	0:49.42

◆50m マネキンキャリー 高校生 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	雨宮 利明	キタジマ	33.49 大会新
2	松木 菜大	日体大荻原	35.50
3	畑中優太	日体大荻原	35.58
4	日高 昂	館山	37.19
5	大圖 光陽	日体大荻原	38.07
6	青山ウィリアム	キタジマ	38.14
7	菅原 佳澄	西浜	41.12
8	竹花 悠也	日体大荻原	41.69
8	相馬 大輝	西浜	41.69

◆4×50m 障害物リレー 小学生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	キタジマ	盛 暢孝、宮本 大輝、富田 月子、関口 美海	2:16.87 大会新
2	世田谷 SA	山本華澄、牧野花梨、矢島世晋、小松 玄	2:19.75 大会新
3	西浜 A	太田凱、浜地沙羅、布方勇海、菅原明澄	2:32.57
4	山形 A	久木朱瑛、船水子龍、吉田通登、池田樹里	2:36.65
5	西浜 B	布方達海、山下隼吾、小榎聖斗、浜地曜依	2:52.66
6	山形 B	山下楓乃、石井士道、船水寧々、三浦遥華	3:28.19
7	山形 C	富田明寿、高橋空我、吉内誠斗、五十嵐咲妃	3:54.69
8	柏崎	吉田千柚、山崎さくら、永井美由紀、生田目薫乃	3:58.89

◆4×50m 障害物リレー 中学生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	世田谷 SA A	中嶋珠葵、岡崎拓海、小橋 桃子、小橋 廉太郎	2:05.42
2	盛岡	桜田悠希、高橋叶、高橋佑介、高橋 琉生	2:06.35
3	キタジマ	服部亜実、関口莉歩、田中伶奈、岸波志音	2:09.03
4	柏崎	藤巻遥哉、吉田 麦、坂上聖虎、生田目文太郎	2:09.33
5	世田谷 SA B	高橋葵子、松山瑞季、奥石晴歩、正木友海	2:17.20
6	湯河原	山本一凛、安田結、吉野克哉、露木 凜	2:22.93
7	西浜	クレイコナ大波、高橋かのん、天川文乃、大熊美咲	2:24.86
8	気仙沼	玉川漸、小野寺駿佑、齋藤星也、津田 海紀	2:40.31

◆4×50m 障害物リレー 高校生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日体大荻原 A	竹花 悠也、林愛莉、山路 倅茄、松木 菜大	1:55.90
2	日体大荻原 C	畑中 優太、稲畑 桃子、糸井 成、森下 広大	1:58.42
3	日体大荻原 B	森野 郁也、吉澤 柚衣、加賀谷美羽、大圖 光陽	2:00.05
4	盛岡	向井 理貴、高橋 みなみ、菅野 敬介、水野 一真	2:01.80
5	日体大荻原 D	川隅 由貴、三好 雄稀、佐藤 龍之介、仙波 美幸	2:07.31
6	山形	浦山 惇弥、荒木 修杜、塚本 輝、橋本 駿彦	2:07.87
7	十文字高校	石野 夏未、中村 悠佳里、吉田 絢香、加藤 慧	2:09.58
8	西浜	三浦 誠人、相馬 大輝、菅原 佳澄、内堀 夏怜	2:09.97

◆4×50m レスキューチューブリレー 小学生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	キタジマ	盛 暢孝、宮本 大輝、富田 月子、関口 美海	2:29.60 大会新
2	世田谷 SA	山本華澄、牧野花梨、小松 玄、矢島世晋	2:35.78
3	西浜 A	太田凱、浜地沙羅、布方勇海、菅原明澄	2:47.35
4	西浜 B	浜地曜依、小榎聖斗、山下隼吾、布方達海	3:05.06
5	山形 A	久木朱瑛、船水子龍、吉田通登、池田樹里	3:05.18
6	柏崎	生田目薫乃、山崎さくら、吉田千柚、永井美由紀	3:58.09
7	山形 B	山下楓乃、船水寧々、五十嵐咲妃、三浦遥華	4:34.75
8	山形 C	吉内諒斗、石井 沙季、石井 士道、富田明寿	4:36.42

◆4×50m モドレーリレー 中学生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	キタジマ	服部亜実、山崎恵里佳、岸波志音、関口莉歩	2:00.79
2	柏崎	吉田 麦、坂上聖虎、藤巻 遥哉、生田目文太郎	2:03.20
3	西浜	天川文乃、高橋かのん、大熊美咲、クレイコナ大波	2:06.85
4	世田谷 SA B	松山瑞季、高橋 菜子、正木友海、奥石晴歩	2:10.77
5	湯河原	吉野克哉、安田結、山本一凛、露木 凜	2:14.55
6			
7			
8			

◆4×50m モドレーリレー 高校生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日体大荻原 A	畑中 優太、佐藤 龍之介、松本 菜大、森野 郁也	1:43.51 大会新
2	日体大荻原 B	竹花 悠也、大圖 光陽、山路 倅茄、森下 広大	1:51:15
3	西浜	内堀 夏怜、井上 祐里、相馬 大輝、菅原 佳澄	1:52.38
4	日体大荻原 C	三好 雄稀、仙波 美幸、加賀谷美羽、糸井 成	1:54.69
5	盛岡	向井 理貴、高橋 みなみ、水野 一真、菅野 敬介	1:57.47
6	山形	浦山 惇弥、塚本 輝、橋本 駿彦、荒木 修杜	1:58.08
7	日体大荻原 D	稲畑 桃子、吉澤 柚衣、林愛莉、川隅 由貴	2:01.11
8	十文字高校	加藤 慧、金子 梨葉、吉田 絢香、石野 夏未	2:01.56

◆4×25m マネキンリレー 高校生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日体大荻原 A	畑中 優太、森野 郁也、竹花 悠也、松木 菜大	1:25.74
2	日体大荻原 B	大圖 光陽、林 愛莉、佐藤 龍之介、糸井 成	1:32.66
3	西浜	内堀 夏怜、菅原 佳澄、相馬 大輝、三浦 誠人	1:42.82
4	日体大荻原 C	三好 雄稀、芦名 優斗、森 梓咲、森下 広大	1:47.14
5	柏崎	永井 樹、速水 彩、犬井 慧美花、藤巻 夕輝	2:02.21
6	日体大荻原 D	熊木 春乃、吉澤 柚衣、前田 葵、川隅 由貴	2:02.74
7	世田谷 SA	山下 健翔、横田 慶人、黒越 梨奈、岩本 一太	2:15.62
8	山形	浦山 惇弥、荒木 修杜、塚本 輝、橋本 駿彦	2:31.60

◆ラインスロー 中学生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	館山	堺澤 舞香 / 木津谷 海乃	13.18
2	気仙沼	小野寺 駿佑 / 齋藤 星也	14.09
3	世田谷 S A	正木 友海 / 奥石 晴歩	36.89
4	湯河原	山本 一凛 / 露木 凜	37.10
5	キタジマ	伊東 美波 / 江塚 康介	42.45
6			
7			
8			

◆ラインスロー 高校生 混合

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日体大荻原	畑中 優太 / 竹花 悠也	13.74
2	気仙沼	齊藤 愛里 / 三浦 佑真	14.56
3	キタジマ	雨宮 利明 / 青山ウィリアム	15.53
4	湯河原	高山 優希 / 室伏 郁花	16.52
5	昭和第一学園	鈴木 勇樹 / 鹿島 侑也	24.10
6	山形	橋本 駿彦 / 塚本 輝	41.06
7	西浜	天川 葉月 / 菅原 佳澄	41.58
8			

☆チーム総合成績 女子

順位	チーム名	得点
1	日本体育大学	76
2	日本女子体育大学	75
3	日本大学	67
4	早稲田大学	62
5	東海大学湘南校舎	54
6	帝京大学	40
7	慶応義塾大学	35
8	青山学院大学	25

☆チーム総合成績 男子

順位	チーム名	得点
1	日本大学	82
2	日本体育大学	73
3	神奈川大学	67
4	東洋大学	63
5	成蹊大学	47
6	大阪体育大学	46
7	慶応義塾大学	36
8	中央大学	22

◆200m 障害物スイム 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	高村 星	慶應義塾大	02:18.6
2	黒岩 美緒	日女体大	02:19.6
3	成澤 侑花	日本大	02:21.4
4	櫻井 美乃	日本大	02:21.8
5	山城 日向子	専修大	02:22.9
6	田中 悠紀子	早稲田大	02:23.3
7	関口 瑠唯	日体大	02:26.4
8	小林 夢	神奈川大	02:28.4

◆200m 障害物スイム 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	池端 拓海	日本大	02:02.0
2	堀内 敦貴	東洋大	02:06.4
3	林 誠海	東海大湘南	02:06.5
4	新川 将吾	神奈川大	02:08.7
5	川藤 亮太郎	成城大	02:09.9
6	石塚 康敬	東海大湘南	02:10.7
7	小日向 勇二	国士館大	02:11.1
8	ワタナベ 誠	日本大	02:11.5

◆50m マネキンキャリー 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	小田 真木子	早稲田大	38.27
2	黒岩 美緒	日女体大	38.83
3	土井 夢子	日女体大	40.48
4	小林 夢	神奈川大	40.96
5	田中 優果	日体大	41.47
6	熊木 なつみ	帝京大	41.60
7	具志堅 タ	日体大	42.55
8	丸山 みどり	早稲田大	43.27

◆50m マネキンキャリー 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	岡田 充弘	中京大	31.84
2	細川 大介	東洋大	32.85
3	廣田 諒	神奈川大	33.93
4	石塚 康敬	東海大湘南	33.98
5	児玉 拓二	大体大	34.14
5	田中 圭悟	神奈川大	34.31
7	大野 祥吾	日本大	34.46
8	小松 海登	法政大	34.77

◆100m レスキューモドレー 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 真凜	慶應義塾大	01:22.9
2	小田 真木子	早稲田大	01:23.8
3	田中 優果	日体大	01:26.1
4	田村 実絵	日女体大	01:26.4
5	阿形 芽生	日体大	01:27.3
6	田中 悠紀子	早稲田大	01:28.1
7	前川 紗楓	日女体大	01:30.3
8	清水 美咲	日体大	01:31.0

◆100m レスキューモドレー 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	池端 拓海	日本大	01:05.8 大会新
2	堀内 敦貴	東洋大	01:08.5
3	川嶋 駿介	日体大	01:08.6
4	森田 大地	成蹊大	01:09.7
5	田中 圭悟	神奈川大	01:10.4
6	古橋 喜作	成蹊大	01:11.5
7	橋本 瑞希	大体大	01:11.8
8	青木 凌治	成城大	01:13.7

◆100m マネキンキャリー・ウィズフィン 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	船津 美帆	東海大湘南	01:00.6
2	北原 由実子	日体大	01:01.6
3	船津 まどか	東海大湘南	01:01.6
4	藤巻 紗月	慶應義塾大	01:04.5
5	櫻井 美乃	日本大	01:05.9
6	関口 瑠唯	日体大	01:07.6
7	堀江 香織	日女体大	01:10.2
8	土井 夢子	日女体大	01:10.6

◆100m マネキンキャリー・ウィズフィン 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	佐藤 良亮	慶應義塾大	53.96
2	有原 和俊	日体大	54.33
3	岸田 興喜	日体大	54.46
4	亀谷 重思	流通経済大	54.79
5	佐々木 渉	成蹊大	54.96
6	菊地 光貴	神奈川大	55.01
7	重岡 寛大	日本大	56.00
8	徳応 涼輔	日体大	56.79

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	船津 美帆	東海大湘南	01:06.9
2	北原 由実子	日体大	01:09.6
3	山口 茜	日女体大	01:10.7
4	白鳥 紗貴	A G U	01:10.9
5	中田 碧	日体大	01:12.6
6	石毛 杏奈	帝京大	01:12.7
7	杉崎 友梨	日体大	01:13.8
8	宮澤 あみ	早稲田大	01:14.1

◆100m マネキントウ・ウィズフィン 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 凌	慶應義塾大	56.19 大会新
2	佐々木 渉	成蹊大	59.49
3	橋本 瑞希	大体大	01:00.1
4	桑川 拓海	法政大	01:00.6
5	小山 広将	流通経済大	01:00.8
6	重岡 寛大	日本大	01:01.9
7	佐々木 萌佑	法政大	01:06.1
8			

◆200m スーパーライフセーバー 女子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 真凜	慶應義塾大	02:43.5
2	成澤 侑花	日本大	02:47.6
3	山口 茜	日女体大	02:52.1
4	宮澤 あみ	早稲田大	02:53.8
5	高橋 志穂	新潟産業大	02:55.7
6	澁谷 祐未	日女体大	03:03.2
7	清水 美咲	日体大	03:07.5
8	佐藤 美帆	日体大	03:11.5

◆200m スーパーライフセーバー 男子

順位	競技者名	チーム名	記録
1	上野 凌	慶應義塾大	02:15.7 大会新
2	廣田 諒	神奈川大	02:24.4
3	松本 侑也	早稲田大	02:25.2
4	森田 大地	成蹊大	02:26.6
5	岩井 浩大	日体大	02:27.3
6	光野 智大	日本大	02:34.5
7	亀谷 重思	流通経済大	02:38.8
8	志田 涼介	神奈川大	02:39.0

第 9 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

◆4×50m 障害物リレー 女子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大	櫻井 美乃 / 村上 菜穂 / 松竹 凜子 / 成澤 侑花	02:01.9
2	日体大	関口 瑠唯 / 田中 優果 / 北原 由実子 / 阿形 芽生	02:02.0
3	日女体大	黒岩 美緒 / 並谷 祐未 / 前川 紗暎 / 山口 茜	02:02.6
4	早稲田大	田中 悠紀子 / 小田 真木子 / 丸山 みどり / 串田 愛	02:06.7
5	帝京大	五十嵐 陽菜 / 竹之内 里佳 / 熊木なつみ / 石毛 杏奈	02:07.0
6	慶應義塾大	高村 星 / 上野 真凜 / 清原 晴佳 / 藤巻 紗月	02:08.2
7	東女体大	竹内ティアレ / 樋口 葉乃 / 佐々木 恵 / 杉山 夏織	02:08.8
8	A G U	村田 佳央瑠 / 白鳥 紗貴 / 黒田 愛 / 小坂 芽衣	02:08.9

◆4×50m 障害物リレー 男子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大	光野 智大 / 岡野 文哉 / 重岡 寛大 / 池端 拓海	01:45.3
2	神奈川大	北畑 優成 / 新川 将吾 / 徳元 将太郎 / 廣田 諒	01:46.1
3	成蹊大	古坂 喜作 / 佐々木 渉 / 森田 大地 / 木下 優希	01:46.7
4	東洋大	堀内 敦貴 / 野本 昂汰 / 野口 将吾 / 細川 大介	01:46.8
5	日体大	有原 和俊 / 徳広 涼輔 / 岩井 浩大 / 川嶋 駿介	01:48.5
6	大体大	藤森 佑輝 / 大西 飛翔 / 田中 太規 / 久保 愛斗	01:49.2
7	流通経済大	千代 大斗 / 遠藤 勝久 / 小山 広将 / 亀谷 重思	01:50.8
8	法政大	北村 俊樹 / 渡邊 孝之 / 桑川 拓海 / 佐々木 萌佑	01:50.9

◆4×25m マネキンリレー 女子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日女体大	並谷 祐未 / 土井 夢子 / 山口 茜 / 黒岩 美緒	01:31.9
2	日体大	田中 優果 / 阿形 芽生 / 清水 美咲 / 貝志堅 タ	01:34.0
3	早稲田大	宮澤 あみ / 小田 真木子 / 丸山 みどり / 田中 悠紀子	01:34.6
4	日本大	長谷川 舞 / 櫻井 美乃 / 川村 真穂 / 矢萩 晴	01:44.6
5	A G U	黒田 愛 / 白鳥 紗貴 / 小坂 芽衣 / 村田 佳央瑠	01:46.9
6	東海大湘南	一原 枝厘花 / 照沼 可琳 / 船津 まどか / 鹿島 葉	01:49.6
7	東女体大	井口 彩紀 / 新納 みちる / 佐々木 恵 / 平本 依吹	01:52.2
8			

◆4×25m マネキンリレー 男子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大	池端 拓海 / 山口 溪 / 大野 祥吾 / 光野 智大	01:12.3 大会新
2	成蹊大	古坂 喜作 / 森田 大地 / 佐々木 渉 / 木下 優希	01:14.7
3	大体大	藤森 佑輝 / 児玉 拓二 / 楠本 瑞希 / 田中 太規	01:15.2
4	日体大	玉井 颯 / 川嶋 駿介 / 玉井 浩大 / 有賀 海斗	01:17.7
5	神奈川大	田中 圭悟 / 廣田 諒 / 徳元 将太郎 / 北畑 優成	01:18.2
6	流通経済大	遠藤 勝久 / 小山 広将 / 亀谷 重思 / 千代 大斗	01:20.3
7	東洋大	細川 大介 / 比嘉 貴博 / 野本 昂汰 / 堀内 敦貴	01:20.5
8	東海大湘南	石塚 康敬 / 木村 岳人 / 青戸 一貴 / 小笠原 尚輝	01:20.8

◆ラインスロー 女子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	帝京大	熊木 なつみ / 富田 有佐	14.93
2	東海大湘南	照沼 可琳 / 川嶋 望生	18.38
3	成城大	勝又 日葉 / 長谷川世里香	20.77
4	A G U	小坂 芽衣 / 白鳥 紗貴	23.11
5	国際武道大	井戸上 萌 / 丹羽 久美	27.75
6	東女体大	末次 凜 / 佐々木 恵	33.51
7	大体大	井田 成美 / 岡崎 美月	42
8			

◆ラインスロー 男子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日体大	川嶋駿介 / 岩本耕平	10.88 大会新
2	中央大	深水 雄 / 八重澤雄太	12.80
3	専修大	奥津遠也 / 野田涼平	14.21
4	東洋大	竹田陸央 / 瀬下雄司	16.00
5	明星大	杉森竜太 / 北村徳登	16.62
6	国士舘大	多田輝成 / 丸山 嶺	17.69
7	国際武道大	谷田和也 / 大山 祐	18.21
8	拓殖大	伊藤裕太 / 幸壬 翼	20.81

◆4×50m メドレーリレー 女子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大	白田 史歩 / 村上 菜穂 / 櫻井 美乃 / 成澤 侑花	01:51.3 大会新
2	日女体大	黒岩 美緒 / 土井 夢子 / 山口 茜 / 並谷 祐未	01:51.8 大会新
3	日体大	関口 瑠唯 / 北原 由実子 / 阿形 芽生 / 中田 碧	01:52.0 大会新
4	東海大湘南	一原 枝厘花 / 照沼 可琳 / 船津 美帆 / 船津 まどか	01:54.4
5	早稲田大	小田 真木子 / 宮澤 あみ / 田中悠紀子 / 丸山みどり	01:56.3
6	東女体大	竹内ティアレ / 井高 絵蓮 / 佐々木 恵 / 杉山 夏織	01:57.7
7	大体大	後藤 美咲 / 井田 成美 / 舟根 凜香 / 岡崎 美月	01:58.4
8	帝京大	小池 愛奈 / 竹之内 里佳 / 五十嵐 陽菜 / 石毛 杏奈	02:02.5

◆4×50m メドレーリレー 男子

順位	チーム名	競技者名	記録
1	日本大	大野 祥吾 / 光野 智大 / 池端 拓海 / 山口 溪	01:36.3 大会新
2	日体大	岩井 浩大 / 岸田 興喜 / 川嶋 駿介 / 有原 和俊	01:36.7
3	神奈川大	北畑 優成 / 菊地 光貴 / 新川 将吾 / 廣田 諒	01:37.7
4	東洋大	野口 将吾 / 細川 大介 / 堀内 敦貴 / 野本 昂汰	01:38.2
5	大体大	藤森 佑輝 / 福井 佑都 / 大西 飛翔 / 楠本 瑞希	01:38.2
6	法政大	渡邊 孝之 / 佐々木 萌佑 / 小松 海登 / 桑川 拓海	01:39.7
7	慶應義塾大	伊藤 駿太 / 横山 智 / 佐藤 良亮 / 上野 凌	01:39.8
8	成城大	川藤 亮太郎 / 川島 李空 / 青木 凌治 / 大野 芳誉	01:40.0

多くの皆様のご支援のもと、水辺の事故ゼロを目指しています。
＜敬称略＞

【協賛】

株式会社三洋物産 株式会社三洋販売
第一三共株式会社
味の素株式会社
株式会社大塚製薬工場
株式会社オッシュマンズ・ジャパン
株式会社櫻井興業
サッポロホールディングス株式会社
千葉県レクリエーション都市開発株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
明和地所株式会社
レールダルメディカルジャパン株式会社

【助成】

日本財団
シャルレーヌ・モナコ公妃財団
独立行政法人日本スポーツ振興センター

【協力】

株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
株式会社ゴールドウイン
株式会社ジャングルジャム
株式会社 TKS
株式会社ポピンズ
ミスノ株式会社
株式会社ライトアベイル

【団体賛助・寄付】

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
VIGO MEDICAL 株式会社
株式会社カクイホーム
キング通信工業株式会社
株式会社三洋物産 株式会社三洋販売
株式会社第一成和事務所
千葉県レクリエーション都市開発株式会社
一般財団法人千代田健康開発事業団
DHL ジャパン株式会社
公益社団法人 日本水難救済会
株式会社ビーウォッシュ
フィリップス・ジャパン株式会社
株式会社ポピンズ
有限会社吉田三郎商店
ラディックス株式会社
有限会社リプロ

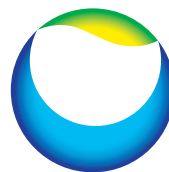
【個人賛助・寄付】

小島 祐嘉
山田 穂積

協賛



株式会社三洋物産
株式会社三洋販売



Daichi-Sankyo

第一三共株式会社



味の素株式会社



株式会社大塚製薬工場



株式会社オッシュマンズ・ジャパン



株式会社櫻井興業



SAPPORO

サッポロホールディングス株式会社

千葉県レクリエーション都市開発
株式会社



株式会社フィリップス・ジャパン



明和地所

明和地所株式会社



Laerdal
helping save lives

レールダル メディカル ジャパン株式会社

助成



日本財団



シャルレーヌ・モナコ公妃財団



独立行政法人日本スポーツ振興センター

協力



株式会社明石スクールユニフォームカンパニー



株式会社ゴールドウイン



株式会社ジャングルジャム



株式会社 TKS



株式会社ポピンズ



ミズノ株式会社



株式会社ライトアペイル